

沖冠
嶺著

十八史略譯解

六

特31

732

館經書會育教本日大		
室		第
一	五	二
二	四	五
冊	號	架

共
三
冊

沖冠嶺正脩編輯

鼇頭
捕畫

十八史畧譯解

東京

敬業堂藏版

沖冠嶺著十八史略譯解卷之六

東京 冠嶺沖正脩編輯



魯ノ母夏侯氏
氏族ニ見ユ

○東晋江東ノ建業ニ都ス、故ニ東晋ト曰フ、後建業ヲ改テ建康ト

為ス、愍帝ノ諱ヲ避ルナリ

中宗元皇帝名ハ魯瑯琊王瑯琊ノ孫ナリ、

宣帝懿、瑯琊ノ生△、瑯琊ノ生△、或人曰

久、魯ノ母、實ハ瑯琊ノ小吏牛金ト通

ノ魯ヲ生△、金ニ嗣テ王ト為ル、金ト通

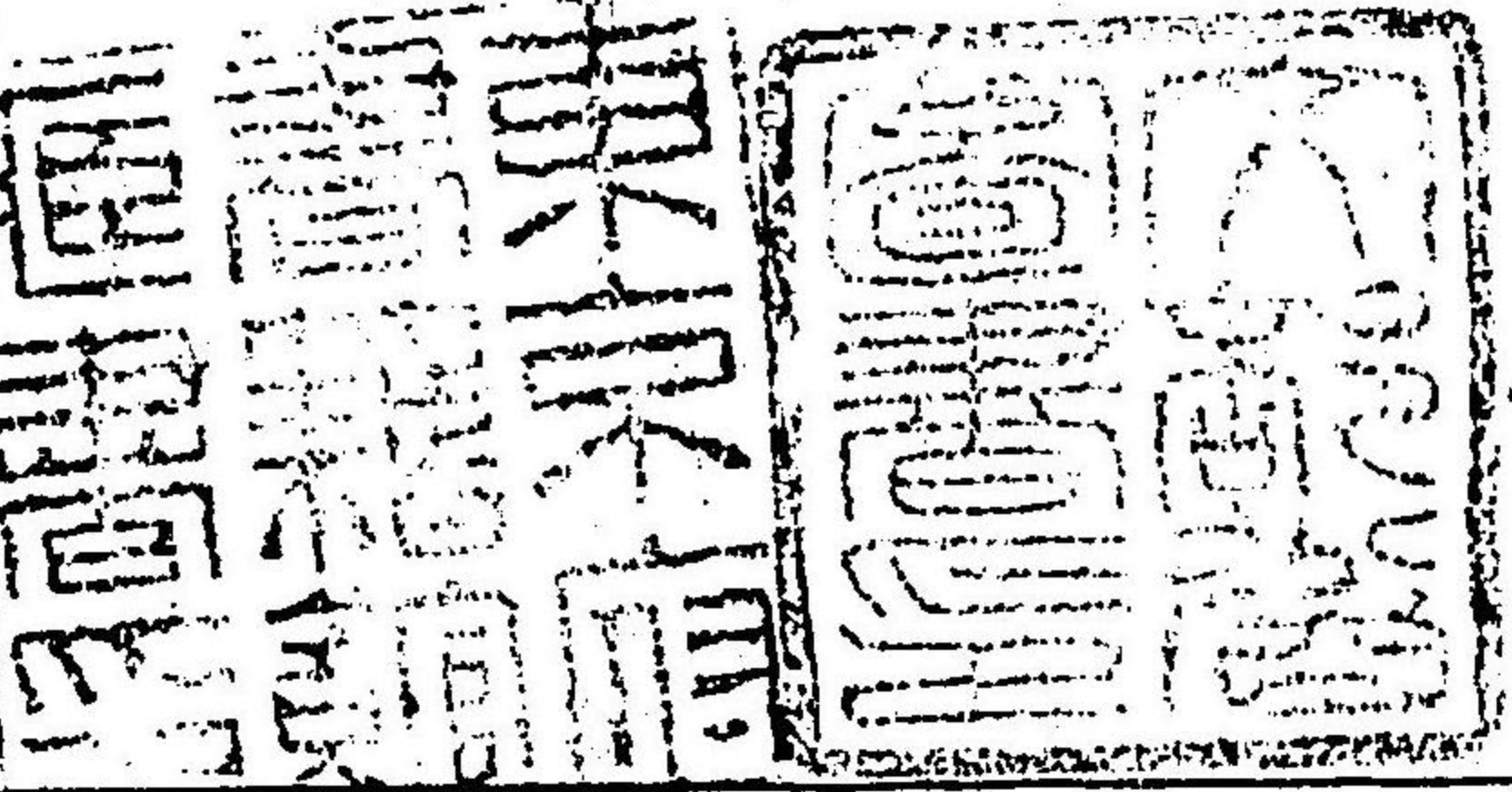
惠懐

文臣 頁

十八史畧譯解卷之六

東晋 元帝 一

魯ノ母夏侯氏
族ニ見ユ



沖冠嶺著十八史略譯解卷之六

東京 冠嶺沖正脩編輯

○東晉江東ノ建業ニ都ス故ニ東晋
為スト曰フ後建業ヲ改テ建康ト
ヲ避ルルナリ諱

中宗元皇帝名ハ魯瑯琊王苻苻苻ノ孫ナリ

宣帝懿苻苻苻ヲ生ム、苻觀ヲ生ム、或人曰

久、魯ノ母實ハ瑯琊ノ小吏牛金ト通

ノ魯ヲ生ム、觀ニ嗣テ王ト為ル、惠懐

卷頁

東晋 元帝 一

再從兄弟曾祖 同名論 譽名勝 議名勝 望名勝 通名勝 鑒名勝 為名勝 酒名勝

管夷吾導 二 喻

ニ於テ再從兄弟タリ元帝紀ニ牛馬初後
 ニ繼クアリ故ニ宣帝深ク牛氏ヲ為リ忌
 ミ、遂ニ酒ヲ貯ス帝先ツ佳者ヲ飲テリ
 テ、以テ酒ヲ其ノ將牛金ヲ使鳩ス而ルル
 毒酒ヲ以テ夏侯氏竟ニ小吏牛氏云
 ニ恭王ノ元帝ヲ生ム亦符アリト云懷懷
 帝ノ時魯安東將軍ト為リ揚州ノ諸諸
 軍ニ都督タリ建業ヲ鎮ス魯王導ヲ導
 以テ謀主ト為ス事コトニ咨フ魯名名
 論素ヨリ輕シ吳人初ハ附カス建業
 ノ吳人ト曰フ故ニ導勸テ諸ノ名勝ヲ用用
 ヲ顧榮賀循紀瞻等掾屬ト為リ新舊新舊
 ヲ綏撫ス江東心ヲ帰ス江東楚江
東 謂フ即

諸ノ名士新亭ニ遊宴スル圖



ナリ建業後又庾亮下壺等百餘人ヲ得得
 タリ之ヲ百六掾ト謂フ辟ス百有六六
 人故ニ百桓彝乱ヲ避テ江ヲ過キ魯魯
 カ微弱ナルヲ見テ之ヲ憂フ既ニ既
 導ヲ見ル退テ周顛ニ謂テ曰ク江左江左
 ニ管夷吾アリ吾憂ナシト江左
 ノ名士新亭ニ遊宴ス新亭
 △ニ臨顛中坐ニノ歎ノ曰ク風景殊ナ殊
 ラス目ヲ舉レハ江河ノ異アリト曰曰
 テ相視テ涕ヲ流ス陽ニ在リト名士名士
 亦遊宴者多ク河濱ニ在リ天氣殊ナ殊
東晉 元帝 二

楚囚左傳晉侯
軍府ヲ觀ス鍾
儀ヲ見テ南冠
問テ曰ク南冠
ノ繫スル者ハ
誰ソヤト有司
曰ク鄭人獻ス
ル所ノ楚囚ナ
リト同ク寢ス
遊珉ト俱ニ司
州ノ主簿アリ
竝ニ英氣アリ
情好綢繆被ヲ
共ニ荒雞同ク
更ラ以テ啼ク
名ツケテ荒雞
ト曰フ荒雞
主ルナリ起テ
舞フ遊謂ラテ
若シ兵乱アラ
ハ則吾カ輩切

江州洛都、巴テアルヲ觀テ、以テ中道守カ曰
ク、當サニカラ、王室ニ戮セ、共ニ神州
ヲ復スヘシ、何ソ楚囚ト作テ對泣ス
ルニ至ランヤト〔神州〕中國、王者ノ居
千里ノ内、愍帝睿ヲ以テ左丞相ト為
ス、洛陽ノ祖遊、少ヨリ、大志アリ、嘗テ
劉琨ト同ク寢、又、中夜ニ荒雞ノ聲ヲ
聞キ、琨ヲ蹴テ起テ曰ク、此レ惡聲ニ
非ルナリト、曰テ起テ舞フ、是ニ及テ、
南ニ渡ル、兵ヲ睿ニ請フ、睿、素ヨリ北
伐ノ志ナシ、遊ヲ以テ、豫州ノ刺史ト

ヲ立テ、名ヲ揚
ルノ秋、此レ惡
ト聲ニ非ルナリ
ト目テ起テ舞
フ露次ト曰フ
露次ト曰フ

為ス、〔豫州〕九州ノ一、全書ニ、今ノ河南
セ兵千人ヲ与フ、禮伏ヲ給セス、遊、江
ヲ渡リ、中流ニノ捐ヲ擊テ、誓テ曰ク、
祖遊、中原ヲ清ムル能ハス、而ノ復濟
ヲハ此江ノ如キアラント、愍帝、又睿
ヲ以テ丞相ト為ス、中外ノ諸軍事ヲ
都督セシム、長安陥ル、睿、師ヲ出シ、露
次シ、檄ヲ移シ、北征ス、實ハ行カス、群
臣、勸テ晋王ノ位ニ即カシム、明年、遂
ニ皇帝ノ位ニ即ク、○太尉劉琨死ス、
初ノ琨、祖遊ト名ヲ齊ス、琨、人ニ謂テ

鞭ヲ著ク先ツ
功名ヲ取ヲ謂
フナリ
邏騎游兵ヲ邏
ト曰フ又偵邏
ノ騎

曰ク、常ニ恐ル、祖生カ吾ニ先テ鞭ヲ
著ケントヲト、懷愍ノ時、并州ノ刺史
ト為ル、并州山西屬太原府、屬琨、軍ヲ出ス、長
史、叛テ石勒ニ降ル、綱目ニ愍帝建興
李弘、并州ヲ以幽州ノ刺史、段匹磾、時
ニ、魏書、匹磾、在、入、琨ヲ邀ヘシム、
琨、衆ヲ率テ、匹磾ニ奔ル、匹磾ト血ヲ飲
テ同盟シ、晋室ヲ翼戴ス、琨ヲ襲取
ト欲スル者アリ、段未書ヲ遣メ、琨ニ
請テ内應ヲ為ントス、書、匹磾ノ邏騎
ノ為メニ獲ラル、而ヲ琨、實ハ知ラサ

○綱目、愍帝建
興四年、司空長
史李弘、并州降
以テ、鞠ニ降ス

ルナリ、竟ニ匹磾カ為メニ縊ラル○
漢主劉聰卒ス、子粲立ツ、其臣靳準、弒
シテ之ニ代ル、石勒、準ヲ討ス、劉曜自
立ス、漢王ト勅ヲ封メ、趙公ト為ス、郡十
ラテ趙公トシ、為、平、曜、疑、ノ、石、勒、王、脩、曜
テ、趙、公、ト、シ、為、平、曜、疑、ノ、石、勒、王、脩、曜
脩、ノ、大、駕、ハ、強、弱、ハ、外、ハ、至、ク、表、勅
ク、内、ハ、大、駕、ハ、強、弱、ハ、外、ハ、至、ク、表、勅
大、是、怒、リ、テ、脩、ハ、市、ニ、斬、勒、自、ラ、趙、王、ト
ル、是、怒、リ、テ、脩、ハ、市、ニ、斬、勒、自、ラ、趙、王、ト
称ス、ト、勒、絶、ツ、自、脩、ヲ、殺、シ、趙、王、ト、称、ス、テ、之、曜
モ亦号ヲ改テ、趙ト為ス、勒ヲ後趙ト
為ス、○略陽、屬、州、臨、渭、ノ、郡、蒲、洪

〔雍容〕勤勞ナキ
ヲ謂フナリ

〔蒲共〕姓名驍勇ニシテ權畧多シ、群臣畏テ之
ニ服ス、劉聰嘗テ拜シテ將軍ト為ス、受
テス、懷帝ノ世ニ在テ、自ラ略陽公ト
稱ス、是ニ至テ趙主曜ニ降ス、○晋ノ
豫州ノ刺史祖逖卒ス、初ノ逖、譙城ヲ
取リ、進テ雍丘ニ屯ス、〔雍丘〕縣、汴後趙
ノ鎮戍、逖ニ歸スル者甚ク衆シ、逖將
士ト甘苦ヲ同ス、勸メテ農桑ヲ課シ、
新附ヲ撫納ス、帝戴淵ヲ以テ將軍ト
為ス、來テ諸軍事ヲ督ス、逖、已レ荊棘
ヲ剪リ、河南ノ地ヲ収ム、而ルニ淵、雍

際ニ見構フ事下

容トシ一旦來テ之ヲ統ルヲ以テ、意
甚ク快々タリ、又王敦ノ朝廷ト隙ヲ
構テ、將サニ内難アラントスルヲ聞
テ、大功ノ遂サルヲ知テ、感激メ病ヲ
癸メ卒ス、豫州ノ士女、父母ニ喪スル
カ若シ、○鮮卑ノ慕容廆、是ヨリ先キ、
嘗テ使ヲ晋ニ遣メ、帝ノ命ヲ受ケ、平
州ノ刺史ト為ル、是ニ至テ、以テ平州
ノ牧、遼東公ト為ル、〔平州〕河東ニ屬、○
初ノ拓跋祿官死ス、猗廬、三部ヲ總攝
ス、劉琨、猗廬ト結テ兄弟ト為ル、懷帝

〔王ト馬ト〕司馬ハ晋ノ姓

〔狡〕猾ナリ

總フ、導ハ、機政ヲ專ラニス、群從子弟
頭要ニ布列ス、時人語ノ曰ク、王ト馬
ト天下ヲ共ニスト、敦、先ニ揚州ノ刺
史ヲ領シ、征討ノ諸軍ヲ都督ス、進テ
鎮東大將軍都督、江、揚、荆、湘、交、廣、六州
ノ諸軍事、江州ノ刺史ト為ル、〔江〕江、西
今ノ九江府〔相〕湖南ニ屬ス、即チ長沙
郡〔交〕南粵ニ在リ、即チ交趾〔廣〕廣東ニ
屬ス、尋テ荊州ヲ領ス、功ヲ恃テ驕恣ナ
リ、帝、畏テ之ヲ惡ム、乃チ劉隗ヲ協ヲ
引テ、腹心ト為ス、稍ク王氏ノ權ヲ抑
損ス、導モ亦漸ク疎外セララル、敦カ參

〔臺〕御史ノ府ス
臺ト曰フ〔百〕
ヲ以テ卿ヲ累
サシ其ノ妻ヲ
家屬ヲ謂テ、百
口ト為ス、顛ヲ
ノ導ヲ保護ス、
以テ其家ヲ全
ルセシメ、トス

軍錢カカ鳳等カカ狡ナリ、敦カ異志アルヲ
知テ、陰ニ畫策ス、是ニ至テ、敦遂ニ兵
ヲ武昌ニ舉ク、劉隗ヲ協ヲ誅スルヲ
以テ名ト為ス、隗、協、帝ニ勸テ盡ク王
氏ヲ誅セントス、帝、許サス、導、宗族ヲ
率テ、毎旦、臺ニ詣テ罪ヲ待ツ、周顛、將
サニ入ラントス、導之ヲ呼テ曰ク、伯
仁字顛、カ百口ヲ以テ、卿ヲ累サント、顛
顧ス、入テ帝ニ見ユ、導カ忠誠ヲ言フ、
申救甚夕至レリ、帝、其言ヲ納ル、顛、醉
テ出ツ、導、又呼フ、顛、与ニ言ハス、左右

〔肘後〕
 下ニ佩ルヲ謂
 フナリ百里ノ
 命論語、泰伯篇
 二、曾子ノ曰ク
 以テ六尺ノ孤
 フテ託ス可シ以
 百里ノ命ヲ寄
 ス可シト、言ハ
 將サニ導ヲ言ハ
 君ノ政令ヲ攝
 セシメテノトス
 ルナリ

ヲ顧テ日久、今年諸ノ賊奴ヲ殺メ、金
 印ノ斗ノ大サノ如ナルヲ取テ、弒後
 ニ繫ケント、既ニ出ツ、又表ヲ上テ、導
 カ罪ナキヲ明ス、導、知ラスノ之ヲ恨
 ム、帝、召テ導ヲ見ル、導、稽首メ曰ク、乱
 臣賊子何ノ代ニカ之ナカラシ、意ハ
 サリキ今者近ク臣カ族ニ出テント
 ハト、帝、跪ニシテ其手ヲ執テ曰ク、茂弘
 導カ方サニ卿ニ寄ルニ百里ノ命ヲ
 以テセント、是レ何ノ言ソヤト、導ヲ
 以テ、前鋒大都督ト為ス、敦、石頭城ニ

〔吾レ復盛徳ノ
 事ヲ為スヲ得
 スト〕
 無スルノ跡ヲ
 掩ヒ難キナリ
 〔幽冥〕
 冥冥ハ、暗ナ
 リ、幽冥ハ、地
 ノ知ラサル地
 ナリ

至リ、之ニ據ル〔石頭城〕近ク禁曰ク、吾
 レ復盛徳ノ事ヲ為スヲ得スト、協隗
 等、道ヲ分テ出テ戦ス、大ニ敗レテ還
 ル、帝、百官ヲ石頭ニ詣リ、敦ヲ見セ
 シム、敦、周顛ヲ殺ス、導、救ハス通鑑ニ
 問テ曰ク、周顛ハ、南北ノ望ナリ、當サ
 ニ、導、答ヘス、又曰ク、若シ三司トセサ
 ト、導、此應サニ令僕トスヘキト、又答
 へス、敦、曰ク、若シ爾ラサレハ、正ニ中
 當サニ誅スヘキノミト、又答ヘス、中
 書ノ故事ヲ料檢ス、顛カ表ヲ見ル、之
 ヲ執テ、流涕メ曰ク、吾レ伯仁ヲ殺サ
 スト、雖モ、伯仁、我ニ由テ、死ス、幽冥ノ

問、此良友ニ負クト問テ、答ハサルヲ
 ナ悔リ敦、朝セスノ去リ、武昌ニ還ル、帝
 憂憤ノ疾ヲ成メ崩ス、在位六年、改元
 スル者三ツ、曰ク建武、大興、永昌、太子
 立ツ、是ヲ肅宗明皇帝トナス
 肅宗明皇帝名ハ紹、幼ニシテ聰慧ナリ、嘗
 テ使者アリ長安ヨリ来ル、元帝、紹ニ
 問テ曰ク長安近キカ、日近キカト、紹
 ノ曰ク長安近シ、但人ノ長安ヨリ来
 ルヲ聞久人ノ日邊ヨリ来ヲ聞カス
 ト、元帝、其對ヲ奇トス、一日、群臣ト語

愕驚負
 間往日ナリ

布衣ノ交ハ貴人
 士ニ接ハル情
 好親密復タル上
 下ノ礼數ニ拘
 ラス、相与ニ爵
 禄ナキ者ノ如
 クス、之ヲ布衣
 ノ交ト云フ

テ之ニ及ス、復以テ紹ニ問フ、紹曰ク
 日近シ、元帝愕然トシテ曰ク、何ノ間者
 ノ言ニ異ナルヤト、紹曰ク、頭ヲ擧レ
 ハ、日ヲ見ル、長安ヲ見スト、元帝益之
 ヲ奇トス、長スルニ及テ、仁孝アリ、文
 辞ヲ喜ミ、武藝ヲ善ス、賢ヲ好シ、士ヲ
 礼シ、規諫ヲ受ク、庾亮、温嶠等ト布衣
 ノ交ヲ為ス、敦、石頭ニアリ、其ノ勇畧
 アルヲ以テ、誣ニ不孝ヲ以テノ之ヲ
 廢セント欲ス、嶠等カ衆論、其謀ヲ沮
 ニ賴テ、是ニ至リ位ニ即ク、敦、位ヲ篡

フラ謀ル、屯ヲ姑熟ニ移ス〔姑熟〕郡、江
 今ノ太自ラ揚州ノ牧ヲ領ス、王敦、大
 平府ノ會ス、温嶠ニ問テ曰ク、皇太子、何
 フ會ヲ以テ深稱セラレト、色色俱ニ屬シ、
 嶠曰ク、深ヲ鉤リ、遠ヲ致ス、蓋シ淺局
 ノ、孝ト謂フニ非ス、礼ヲ以テ之ヲ觀レ
 ハ、然ト為ス、敦カ謀、遂ニ沮ムテ信
 導ヲ以テ司徒ト為ス、大都督ヲ加ス、
 諸軍ヲ督シ、敦ヲ討セシム、敦、復反シ、
 兵ヲ發ソ病ス、郭璞ヲソ之ヲ筮セシ
 ム、璞カ曰ク、明公事ヲ起サハ、禍必ス
 久カラスト、敦、大ニ怒テ曰ク、卿カ壽
 幾何〔イカ〕ソト、璞カ曰ク、命、今日ノ中ニ盡

〔覘〕窺ナリ

ント、敦、之ヲ斬ル、帝、自ラ出テ敦カ軍
 フ〔覘〕フ帝、將サニ敦ヲ誅セントス、微
 寮、敦、晝日ノ其宮ヲ環ヲ夢ム、驚キ悟
 テ曰ク、黃鬚鮮卑、見来ルヤト、帝ノ
 母ハ鮮卑ノ出ナリ、帝ノ母荀氏、燕人
 ニ類ノ黃鬚、出ノ亟ニ人ヲソ之ヲ追
 言タル生ナリ、ハシム、及ハス、帝、諸軍ヲ帥テ、出テ、
 南皇堂ニ屯ス〔南皇堂〕江寧縣、夜壯士
 フ募テ、水ヲ渡リ、敦カ兄ノ王含カ軍
 フ掩フ、大ニ之ヲ破ル、敦、含カ敗ルヲ
 聞テ曰ク、我カ兄ハ老婢ノ之、門戸衰

〔掩〕襲ナリ

困乏氣体ニ充
ル能ハサルヲ
困ト為ス力身
ヲ舉ル能サル
ヲ左遷ト為ス
ハ右ノ強ニ如
カス左遷トハ
賤下ナリ

へ世事去ヌト、目テ勢ヲ作シ、起テ自
ラ行ント欲ス、困乏ノ復卧ス、尋テ卒
ス、敦カ黨悉ク平ク、敦カ死ヲ發テ之
ヲ斬ル、有司、王氏ノ兄弟ヲ罪セント
奏ス、詔ソ曰ク、司徒王導、大義ヲ以テ
親ヲ滅ス、將サニ十世之レヲ宥ント
スト、悉ク問フ所ナシ。○陶侃ヲ以テ
荆湘等ノ州ノ諸軍事ヲ都督セシム、
侃、少ノ孤貧孝廉、范逵、之過、逵、初ノ孝
之ヲ故稱ス以テ侃カ母湛氏、髮ヲ截リ賣
テ酒食ヲ為クル、逵、侃ヲ薦ム、遂ニ名

陶侃百甕ヲ齋外ニ
運ス



ヲ知ラレ初ノ荆州ノ都督劉弘カ為
メニ用ラル、義陽ノ叛蛮張昌ヲ討ス
義陽郡、河南ニ屬又江東ノ叛將陳敏
ヲ討破ス、又湘州ノ勦賊杜弢ヲ擊破
ス、江夏ノ太守ヨリ、荆州ノ刺史ト為
ル江夏郡名王敦、之ヲ疾ク、廣州ノ
刺史ニ左遷ス、侃、州ニ在テ朝ニ百甕
ヲ齋外ニ運ヒ、暮ニ齋内ニ運ス、人、其
故ヲ問フ答テ曰ク、吾レ力ヲ中原ニ
致サン、故ニ勞ヲ習フノミト、是ニ至
テ、復荆州ヲ鎮ス、士女相慶ス、侃、性聰

〔分陰〕一離一合
ノ間〔擣蒲〕賭具
或ハ曰フ、即チ
双陸ナリ〔籍簿〕
籍冊ナリ、以テ
其教ヲ記スル
ナリ〔正會〕正月
元日、又元會ト
曰フ

敏恭勤ナリ、嘗テ曰ク、大禹ハ聖人ナ
リ、乃チ寸陰ヲ惜ム、衆人ハ當サニ分
陰ヲ惜ムヘシ、豈ニ逸遊荒醉ス可ク
ンヤ、生テ時ニ益ナク、死メ後ニ聞ユ
ルナキ、是自ラ棄ルナリト、諸參佐ノ
酒器蒲搏ノ具ヲ取テ悉ク江ニ投メ
曰ク、擣蒲ハ牧猪奴ノ戯ノミト、嘗テ
船ヲ造ル、竹頭キツ木屑ヲ籍メ、之ヲ掌ト
ラシム、人咸ナ所以ヲ解セズ、後正會
ニ雪霽地濕ス、木屑ヲ以テ地ニ布ク、
後ニ蜀ヲ征スルノ師アルニ及テ、侃

〔蒼頭ナリ〕

カ竹頭ヲ得タリ、釘ヲ作テ船ニ装フ、
其ノ綜理微密ナル、此ニ類ス、帝崩ス、
在位三年、改元スル者一ツ、曰ク、太寧、
太子立ツ、是ヲ顯宗成皇帝ト為ス
顯宗成皇帝名ハ衍、母ハ庾氏、五歳ニシテ
即位ス、司徒導、帝ノ舅中書令庾亮ト
政ヲ輔ク、太后朝ニ臨ム。○歷陽ノ内
史蘓峻及ス〔歷陽〕郡、淮西ニ峻、前ニ臨
淮ニ守タリ〔臨淮〕府、淮王敦ノ再ヒ闕
ヲ犯セシ時ニ於テ入衛ノ功アリ、威
望漸ク著ル、歷陽ニ在ニ及テ、卒、銳ニ

袖ヲ絶テ去ル、既ニ至ル、復北ニ帰ル
 ヲ得ス、身ヲ終ルマテ以テ恨ト為ス、
 嶠、心ヲ晉室ニ盡ス、敦敦峻峻ノ平ク、
 皆嶠カカ○後趙ノ石勒、天王ト称ス、
 尋テ帝ト称ス、嘗テ大ニ群臣ヲ饗ス、
 問テ曰ク、朕、古ノ何ノ主ニ方テ可キ
 ト、或人曰ク、漢高ヨリ過タリト或人
 勒、笑テ曰ク、人豈自ラ知ラサランヤ
 卿カ言太過タリ、若シ高帝ニ遇ハ、
 當サニ北面ノ之ニ事フヘシ韓信彭
 越彭ト肩ヲ比セシ、若シ光武ニ遇

落、言、明、通、磊
 媚、言、孤、能、ク、孤
 化、言、以、テ、人、ヲ
 媚、言、以、テ、人、ヲ
 誑、言、以、テ、人、ヲ
 稱、言、以、テ、人、ヲ

ハ、當サニ中原ニ並驅スヘシ、未タ
 鹿ノ誰カ手ニ死セシヲ知ラス、大丈
 夫事ヲ行フ、當サニ礪々落落タル日
 月ノ皎然タルカ如クナルヘシ、終ニ
 曹孟徳魏太祖司馬仲達晉宣帝カ人ノ孤
 兒寡婦ヲ欺テ狐媚ノ以テ天下ヲ取
 ニ效サルナリト蜀漢ノ延熹二年、春
 太子芳立ツ、幼シ、大將軍曹爽、尚書何
 晏、朝政ヲ專ス、太傅司馬懿、爽等
 フ、懿死ス、其族子師芳、弟昭、髦、
 ス、懿死ス、其族子師芳、弟昭、髦、
 髦、懿死ス、其族子師芳、弟昭、髦、
 武皇受ク、是ヲ昭ノ子、炎、遂ニ負、
 勅、學ハスト雖、好

〔漢書〕班固ノ著
ス所口

テ入ヲソ書ヲ讀マシメテ之ヲ聽ク
 時ニ其意ヲ以テ得失ヲ論ス、聞者悅
 服ス、嘗テ漢書ヲ讀ヲ聽ク、酈レキ食其カ
 勸テ六國ノ後ヲ立ルニ至リ、驚テ曰
 ク、此法當サニ失スヘシ、何ヲ以テカ
 遂ニ天下ヲ得タルト、張良カ諫ヲ聞
 ニ及テ、乃チ曰ク、此レアルニ頼ノミ
 ト、後使ヲ遣シ、好ヲ晋ニ修ス、晋、其幣
 ヲ焚ク、勒卒ス、子弘立ツ○晋ノ太尉
 陶侃卒ス、侃、八州ニ都督タリ八州、明
 荆、湘、雍、梁ヲ督ス、成帝威名赫然、或人
ノ時、交、廣、荆、江ヲ督ス

〔制〕裁制ナリ

謂フ、侃、嘗テ夢ニ八翼ヲ生シ、天門ニ
 上リ、八重ニ至リ左翼ヲ折テ下ルト
 本傳ニ、夢ニ八翼ヲ生メ、飛テ天ニ上
 ル、天門九重ヲ見テ、已テ其八重ニ
 登ル、唯一門入ヲ得ス、闔者杖ヲ以テ
 之ヲ擊ツ、其ノ左翼ヲ折ル、目テ地ニ
 ツ墜カ能ク跋扈ス、翼ヲ折ルノ夢ヲ思
 フ毎ニ、輒チ自ラ制ス、軍ニ在ルト四
 十一年、明毅ニノ善ク断ス、人欺ク能
 ハス、南陵ヨリ白帝ニ至ルマテ數千
 里、路遺井ヲ拾ハス〔南陵〕郡、江東ニ屬ス、
 州ニ○後趙ノ石虎、其主弘ヲ殺ノ自
 立シ、趙天王ト為ル、勅カ種ヲ殺ノ遺

天人即チ長ナ

スナシ○成、國号ヲ改テ、漢ト曰フ、李
 雄、兄ノ子班ヲ以テ太子ト為ス、雄卒
 ス、班立ツ、雄カ子越、班ヲ弒ス、其ノ弟
 期ヲ立ツ期雄子、雄カ弟漢王壽カ
 威名ヲ忌ム、出テ外ニ屯セシム、壽還
 リ襲テ期ヲ弒シ、自立ス○代王什翼
 健立ツ、是ヨリ先キ、代王賀偃卒ス、弟
 統那出奔ス、鬱律カ子翳槐立ツ、統那
 復還ル、翳槐趙ニ奔ル、趙、翳槐ヲ代ニ
 納ル、翳槐卒スルニ臨テ、諸大人ニ命
 メ、弟什翼健ヲ立ツ、猗廬死セシヨリ

〔沖〕幼ナリ

國內難多ク、部落離散ス、什翼健勇ニ
 ノ智略アリ、能ク祖業ヲ脩ム、始テ百
 官ヲ制ス、号令明白、政事清簡ナリ、百
 姓之レヲ安ス、是ニ於テ、東ハ濊貊ヨ
 リ、西ハ破落那ニ及ヒ、南ハ陰山ヲ距
 リ、北ハ沙漠ヲ盡シ、率皆服ス濊貊ノ高麗ノ種
 地、朝鮮ノ東ニアリ破落那ノ大宛ノ後
 疏勒ノ西北ニアリ陰山ノ開平ニ屬
 ス、衆數十万人アリ、拓拔氏はヨリ愈
 大ナリ○晋ノ丞相王導卒ス、初ノ帝、
 位ニ即テ沖幼ナリ、導ヲ見ル毎ニ、必
 ス拜ス、既ニ冠ノ猶ヲ然リ、政ヲ導ニ

〔門地〕門閥、地位

〔休戚〕國ノ休戚
〔元規〕カ塵ノ云々
〔史言〕導カ平
ノ心、自ラ言語
ノ間ニ禁スル

委ス、導、門地ヲ以テ王^{ワケ}述ヲ掾ト為ス、
述、未夕名ヲ知ラレズ、人之レヲ^知ト
謂フ、既ニ見ユ、唯江東ノ米價ヲ問フ、
述、目ヲ張テ答ヘス、導カ曰ク、王掾、痴
ナラスト、導、言ヲ癸スル毎ニ、一坐賛
歎セサルナシ、述、色ヲ正ソ曰ク、人亮
舜ニ非スンハ、何ソ事コトニ善ヲ盡
ヲ得ント、導、容ヲ改メ之ヲ謝ス、導、性
寛厚、委任スル所ノ諸將、多ク法ヲ奉
セズ、大臣之レヲ患フ、庾亮、兵ヲ起メ
導ヲ癸セント欲ス、或人導ニ勸テ、密

此ハサル者、唯
餘アリ、毎日
治效ヲ以テ之
ヲ論セハ、益ナ
キニ似タリ、毎
歳ノ治效ヲ以
テ之ヲ計ハ、則
チ日餘アリ、計
ニ日ニ之ヲ計
テ足ラズ、歳ニ
之ヲ計テ、餘
リ、亦此意

三世元明成

ニ備ヘシム、導カ曰ク、吾レ元規ト休
戚是同シ〔元規〕亮元規、若シ来ラハ、吾
レ便ナ角巾ニメ第ニ帰ラン、復何ソ
懼ンヤト、亮、外鎮ニ居ト雖、而尺^送
ニ朝權ヲ執ル、上流ニ據テ、強兵ヲ擁
ス、勢ニ趨ク者、多ク之ニ帰ス、導、内平
ナル能ハス、嘗テ西風塵ノ起ルニ遇
フ、扇ヲ舉テ自ラ蔽ヒ、徐カニ曰ク、元
規カ塵、入ヲ汚スト、導、簡素寡欲、善ク
事ニ曰テ功ヲ就ス、日用ノ益ナシト
雖モ、而尺^送計、餘アリ、三世ニ輔相ソ、

〔泥首〕泥ヲ以テ
其首ニ塗ルナテ
刑人ノ状

老易老子、周易

〔宗トセラレ〕風
流談論者ノ為
ルニ宗トセラ

倉ニ儲穀ナシ、衣帛ヲ重ス。○晋ノ司
空庾亮卒ス、初ノ蘓峻ノ乱、亮之ヲ激
スルナリト亮、建請シ、峻ヲ徵テ大司農
リナ峻平テ、亮泥首ノ罪ヲ謝ス、外鎮ヲ
求テ、自ラ效ス、後、江荆等ノ州ノ諸軍
事ヲ都督ス、殷浩ヲ辟テ參軍トス、浩、
褚裒ト皆識度清遠ナリ、善ク老易ヲ
談ス、名ヲ江東ニ擅ニス、而ノ浩尤モ
風流ノ為メニ宗トセラレ、亮、中原ヲ
開復セント欲ス、上疏ノ大衆ヲ率テ、
移テ石城ヲ鎮シ、諸軍ヲシテ江沔ニ羅

布セシメ、趙ヲ伐ツノ規ヲ為サント
請フ〔石城〕沔陽ニアリ〔沔〕漢蔡謨カ曰
ク、大江ヲ以テ、蘓峻ヲ禦ク能ハス、安
ソ能ク沔水ヲ以テ石虎ヲ禦カント、
乃チ亮ニ詔メ、鎮ヲ移スヲ聽サス、是
ニ至テ武昌ニ卒ス。○晋慕容皝ヲ封
メ、燕王ト為ス、皝カ父遼東公タリシ
ヨリ、皝ヲ立テ、世子ト為ス、雄毅ニ
シ、權畧多シ、經術ヲ喜ム、庵卒ス、皝立
ツ、其下勸テ王ヲ稱セシム、皝、晋ニ請
ハシメ、遂ニ之ヲ封ス。○帝、在位十八

年、頗ル勤儉ノ徳アリ、改元スル者ニ
ツ、曰ク、咸和、咸康、崩ス、ニ子丕、奕、襁褓
ニ在リ、帝ノ同母弟瑯琊王立ツ、是ヲ
康皇帝ト為ス

〔康皇帝〕名ハ歆、成帝崩スルニ臨テ、歆ヲ

以テ嗣ト為ス、遂ニ即位ス、○都督荆

江等ノ州ノ軍事、庾翼、弟亮、カ人ト為リ、

慷慨ニメ功名ヲ喜ム、浮華ヲ尚ハス、

殷浩、才名、世ニ冠タリ、翼之ヲ重セス、

曰ク、此輩宜ク之ヲ高閣ニ束テ天下

ノ太平ヲ俟テ、徐クニ其任ヲ議スヘ

〔浮華〕老莊ノ言
虚ニノ實ナキ
ヲ謂フナリ

〔朝ル〕浩ヲ識ル、
但夕能ク王行
カ如ク清談ス
ルノ風カ氣槩
其ノ風カ氣槩
アルフ言フ

キノミト、時人、浩ヲ管葛ニ擬ス、以テヲ

管仲、諸葛亮ノ其出ル處ヲ伺テ、以テ

江左ノ興亡ヲ卜ス、曰ク、淵源出テス

ンハ、當サニ蒼生ヲ如何スヘキト、〔淵源〕

浩カ翼、浩ヲ請テ司馬ト為ス、應ヤス、

翼、王夷甫ヲ以テ之ヲ朝ル、〔王夷甫〕行

瑯琊ノ内史桓温、豪爽ニメ風槩アリ、

翼、嘗テ之ヲ薦テ曰ク、英雄ノ才ナリ、

宜ク委スルニ方名カ任ヲ以テスヘ、

シト、〔方名〕方叔、召伯、周ノ宣王是ニ至

テ、翼、胡ヲ滅シ、蜀ヲ取ヲ以テ已レカ

〔建元〕即位、二年ニ改元

〔荆楚〕云々言ハ老練ノ人ニ非ラズ、則チ荆州ヲ領ス可ラサハ、英畧ヲ謀ル

〔西任〕西夏ノ任

〔拜表〕通鑿ノ注ニ、表ヲ拜上シ、詔命ヲ聞ニ及ハスノ、遂ニ行フ謂フナリ

文簡

孝宗

任ト為ス、衆ヲ悉ク北伐セント欲ス、移テ襄陽ヲ鎮ス、翼ニ詔ヲ征討、諸軍ヲ都督セシム、翼温ヲ以テ前鋒督ト為ス。○漢主李壽卒ス、子勢立ツ。○帝、在位三年ニ崩ス、改元スル者一ツ、曰ク、建元、太子立ツ、是ヲ孝宗穆皇帝ト為ス。

〔孝宗穆皇帝〕名ハ聰、三歳ニ即位ス、會稽王昱政ヲ輔ク。○庚翼卒ス、桓温ヲ以テ荆梁等ノ州ノ軍事ヲ都督セシム、翼初ノ其子ヲ表ノ荆州ヲ領セシム。

翼、廟ニ如ク、一物ヲ見ル、方相ノ如シ、戢ニ表ノ輔國將軍荆何亮カ曰ク、荆州ノ刺史ヲ行ハシム、楚ハ、國ノ西門ナリ、豈ニ白面ノ少年ヲ以テ之ニ當ラシム可シヤ、桓温、英畧、人ニ過ク、西任、温ニ出ル者ナシト、丹陽ノ尹劉惔〔丹陽郡ノ名、即建温カ不臣ノ志アルヲ知テ、昱ニ謂テ曰ク、温ヲハ形勝ノ地ニ居ラシム可ラスト、昱聽カス、竟ニ温ヲ以テ翼ニ代ラシム。○漢主李勢、驕淫ニ國事ヲ恤ヘス、桓温、師ヲ帥テ漢ヲ伐ツ、拜表

東晉 穆帝 三

ノ即チ行ク進テ成都ニ至ル、勢降ス、
 建康ニ送ル、漢亡右漢ノ李雄、惠帝
 永興元年ニ僭号
 ノヨリ、成ト為リ、漢ト為リ、是○燕王
 二至テ、五世、合ノ四十四年
 慕容皝卒ス、子高立ツ○趙天王石虎
 帝ト称ス、尋テ卒ス、子世立ツ、其兄遵、
 之レヲ弒メ自立ス、趙乱ル、晋ノ征討
 都督褚裒、表ノ趙ヲ伐ヲ請フ、朝野以
 為ラク、中原、期ヲ指テ復スヘシト、蔡
 謨、獨以為ラク徳ヲ度リカヲ量ル
 若ハナシ、今表ヲ經營セハ、恐クハ憂
 朝廷ニ及ント、裒、將ヲ遣ル、果ノ敗没

分表ノ限ノ外
ナリ

初、梓ナリ

ス。○趙ノ蒲洪、使ヲ遣ノ、晋ニ降ス、洪、
 趙ニ事ル累世、是ニ至テ石閔虎子趙
 主遵ニ言テ曰ク、蒲洪ハ人傑ナリ、今
 関中ヲ鎮ス、恐クハ秦雍、國家ノ有ニ
 非シト、遵、洪力都督ヲ罷ム、洪怒テ枋
 頭ニ帰ル、遂ニ晋ニ通ス枋頭、通鑿ノ
 注ニ、曹操、洪
 水ニ於テ、大枋木ヲ下シ、以テ淇水ヲ
 遏ム、東ノ方、白溝ニ入テ、以テ漕運ヲ
 通ス、目テ其處ヲ号シ、枋頭ト曰フ、
 蹄ニ云ク、汲郡今ノ衛輝府
 リナ○涼州ノ張重華、自ラ涼王ト称ス、
 初ノ惠帝ノ世、張軌、涼州ノ刺史ト為
 ル、威、西土ニ著ル、懷帝、陷没ス、軌、兵ヲ

龍頭

十八史略釋卷六

東晋 穆帝 世

遣シ、愍帝ヲ長安ニ助ケシム、帝、軌ヲ以テ涼州ノ牧、西平公ト為ス、軌卒ス、子寔立ツ、寔、妖賊ノ為ノニ弒サル、弟茂立ツ、趙主劉曜、茂ヲ擊ツ、茂、趙ニ降ル、茂卒ス、寔カ子駿立ツ、茂、終ニ臨テ駿ニ語ス、必ス晋ヲ奉セヨ、失フ可ラスト、駿、復後趙ノ石勒ニ臣タリト雖モ之ヲ耻ツ、成帝ノ時、道ヲ蜀ニ假ル、以テ晋ニ通ス、駿卒ス、子重華立ツ、晋、使ヲ遣シ、仍テ西平公ニ拜ス、重華、自ラ王ト為ル

○後趙ノ石鑑、其主遵ヲ弒

姓ヲ苻ト改ム
識文ニ苻ト改ム
ノタシニ苻ト改ム
ノタシニ苻ト改ム
トテ、遂ニ苻ヲ以テ改ム

ノ自立ス、石閔又鑑ヲ幽ヘテ之ヲ殺ス、自立ス、國号ヲ改テ、魏ト曰フ、虎ノ三十八孫ヲ殺ス〔三十八孫〕名字盡ク未ク詳ナラス石氏ヲ滅ス右、後趙ノ石勒、成帝ノ咸和三年ニ、偕号ノヨリ、是ニ至ル、六年、合閔、姓ハ冉、石氏ノ為ノニ養ハル、是ニ至テ其姓ニ復ス、後燕ノ為ノニ破ラル、執テ之ヲ殺ス○蒲洪、自ラ三秦王ト称ス〔三秦王〕其地、乃人ノ封セラリノ姓ヲ苻ト改ム、洪、先域ヲ以テナリ趙ノ將麻秋ヲ擒メ殺サス、而シテ其言ヲ用ニ、寔スルニ目テ、秋カ為ソニ

晉書 卷之六 東晉 穆帝 世

殷浩空書スル圖



縱擊ス、浩、大ニ敗レ走ル。○涼ノ張重
 華卒ス、子曜靈立ツ、其下之レヲ廢メ、
 張祚^{チヤウソク}又立ツ。張祚重○晉ノ桓温^{クワンオン}、殷浩
 ノ敗ニ曰テ、浩ヲ廢シ、免メ庶人ト為
 ス。朝廷初メ浩ヲ以テ温ニ抗ス。温既
 ヲ滅シ、威勢轉振テ、朝廷之ヲ憚ル。乃
 ナテ、殷浩力盛名有テ、朝野推服ス。ルヲ
 以テ、大ニ之ニ任メ、朝權浩廢ス。此ヨ
 リ内外ノ大權、一ニ温ニ歸ス。浩愁怨
 スト雖モ、辞色ニ形サス、嘗テ空ニ書
 シテ、吐ク怪事ノ四字ヲ作ル、之ヲ父
 ノ鄰超^{トウシュ}、温ニ勸メ、浩ヲ令僕ニ處ス。
浩

空ニ書ス空ヲ
 望テ書寫ス
 空函ハ價ユナ
 リ書ヲ盛ルユ
 ヘンナリ終ニ
 空函ヲ以テ之
 フ、論ト曰フ降

以テ尚書令僕書ヲ以テ之ニ告ク、浩
 射ノ職トナス書ヲ以テ之ニ告ク、浩
 欣然タリ、答書ニ誤アラシク、愚テ、開
 閉スル十教、竟ニ空函ヲ達ス。温、大ニ
 怒テ、遂ニ絶ツ、謫所ニ卒ス。○桓温、師
 ヲ帥テ秦ヲ伐ツ、大ニ秦ノ兵ヲ藍田
 ニ敗ル。藍田縣、安轉戦ノ霸上ニ至ル、
 秦主苻健、長安ノ小城ヲ閉テ、自ラ守
 ル、三輔皆來降ス。温、居氏ヲ撫諭メ、安
 堵セシム、民爭テ牛酒ヲ持テ、迎勞ス、
 男女路ヲ夾テ之ヲ觀ル、耆老泣ク垂
 ル者アリ、曰ク、固ラサリキ、今日復官

〔個儻〕卓異、不羈
ナリ
〔褐〕賤者、服、毛
織、尺、咫、八寸、
ヲ、尺、ト、曰、フ、
野、ヲ、清、ム、言、ハ、
秦、人、悉、ク、麥、ヲ、
芟、テ、田、野、ヲ、清、
ム、ル、カ、如、ク、ノ、
敵、ヲ、ノ、得、セ、ノ、
サ、ル、ナ、リ

〔灞水〕京兆藍田
渭ノ北ニ出テ
渭ニ入ル

軍ヲ觀ントハト、北海ノ王猛、字ハ影
略、個儻ニノ大志アリ、華陰ニ隱居ス
〔華陰〕縣、華陰カ関ニ入ト聞テ、褐ヲ被
州ニ屬ス、温カ関ニ入ト聞テ、褐ヲ被
テ之ニ謁ス、風ヲ捫テ當世ノ務ヲ談
シ、傍ニ人ナキカ若シ、温之ヲ異トメ、
猛ニ問テ曰ク、吾命ヲ奉ノ殘賊ヲ除
ク、而ニ三秦ノ豪傑〔三秦〕廢丘、櫟陽、高
未夕至ル者アラス、何ソヤト、猛曰ク、
ク、公、數千里ヲ速トセス、深ク敵境
ニ入ル、今長安咫尺ナリ、而ニ灞水ヲ
渡ラサレハ、百姓未公、心ヲ知ラス、至ラサ

王猛臥ヲ捫テ當世ヲ
談スル圖



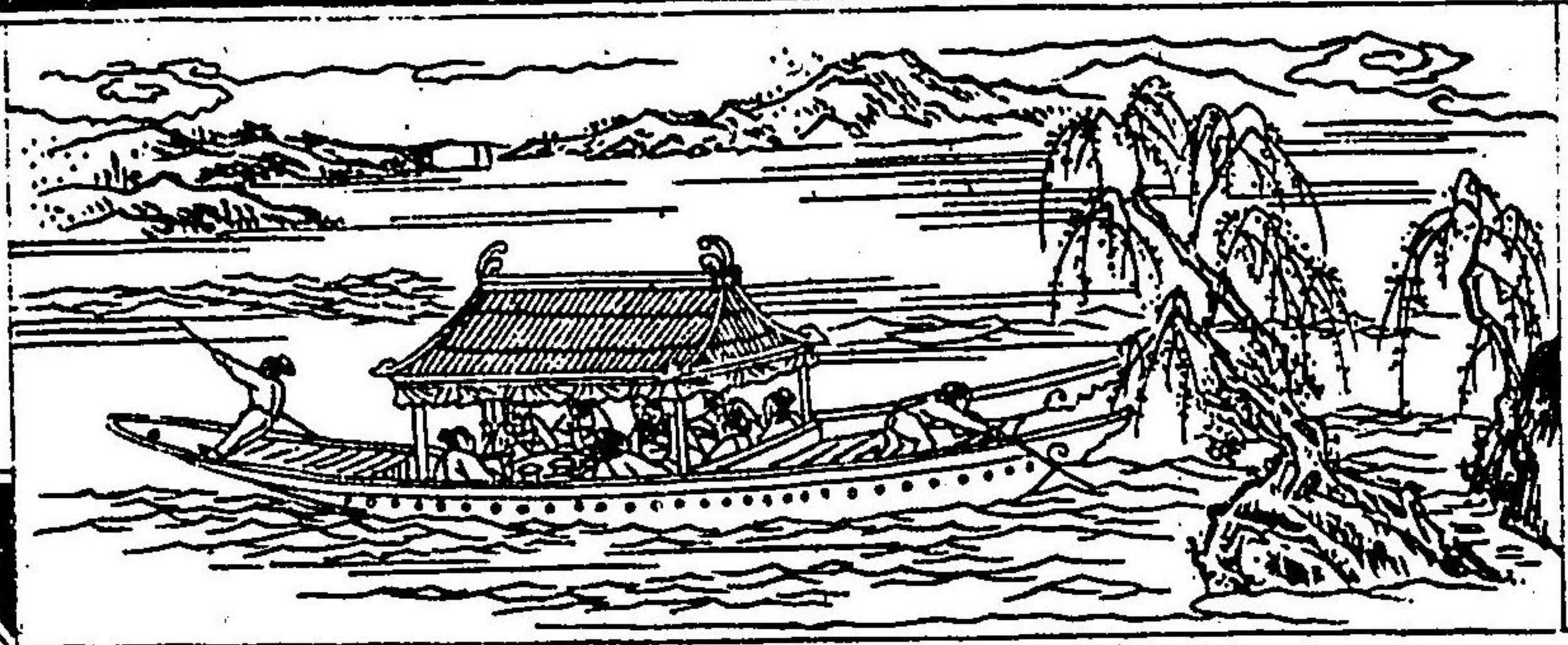
ルユヘント、温黙然、以テ應スルナシ、蓋猛
シ温ノ心事ヲ指出ス、以テ、江東ヲク、温ノ
秦ヲ伐ハ、但功名ヲ以テ、民ヲ吊、鎮服シ、
境ニシテ、復ス、真ニ罪ヲ伐テ、民ヲ吊、鎮服シ、
ラサレハ、何ヲ以テ灞水ヲ渡リ、徑チ然
ニ長安ヲ攻メ、灞水ヲ渡リ、徑チ然
ナキユハ、温、秦ノ兵ト白鹿原ニ戦ス、
利アラサス、〔百鹿原〕永興、秦人、野ヲ清ム、
温カ軍、食ニ乏シ、以テ糧ト為ス、既ニシ、
ノ秦人悉ク猛ト俱ニ還ラント欲ス、
麥ヲ刈ルク、猛ト俱ニ還ラント欲ス、
猛、就カス、秦主健卒ス、子生立ツ、
涼ノ張祚、淫虐ナリ、弒セラレ、子玄、
立ツ、姚襄、燕ニ降ス、北ノ方許昌ニ

〔陸沈〕陸地、沈陷ナリ、中原ノ夷虜ニ陷ヲ謂フナリ、一説、猶乾及ノコトキナリ、水ノ乾地ニ洿メ、沈没スルヲ謂フナリ、亦通ス〔平乘樓〕大船ノ樓

〔諸陵〕西晋ノ墳墓

據ル、又洛陽ヲ改ム、桓温諸軍ヲ督ム、襄ヲ討ス、進テ河上ニ至ル、寮屬ト評、乘樓ニ登テ、北ノ方中原ヲ望テ、歎ノ曰久、神州ヲノ陸沈セシムル百年、王夷甫ノ諸人〔夷甫〕王其責ニ任セサルヲ得ストヘス、以テ夷狄、華ヲ乱ルヲ致ス、伊水ニ至ル〔伊水〕商州、上洛縣、熊耳洛ニ襄、戦テ連リニ敗テ走ル、温、金墉ニ屯シ、諸陵ニ謁ス、鎮戍ヲ置テ還ル、襄、將サニ西ノ方関中ヲ圍ラントス、秦、兵ヲ遣シ拒撃テ襄ヲ斬ル、襄カ弟

桓温寮屬ト平乘樓ニ上テ中原ヲ望ム



長、衆ヲ以テ降ル○秦ノ苻堅生カ子其君生ヲ弒メ自立ノ、秦天王ト為ル、王猛ヲ堅薦ル者アリ、一見ノ舊ノ如シ、自ラ謂フ、玄徳ノ孔明ニ於ケルカ如シト、一歳ノ中ニ五タヒ官ニ遷ル、異才ヲ擧ケ、廢職ヲ修メ、農桑ヲ課シ、困窮ヲ恤ム、秦ノ民大ニ悦フ○燕主慕容皝卒ス、子暉立ツ○晋ノ桓温、謝安ヲ以テ征西司馬ト為ス、安、少ノ重名アリ、前後ノ徵辟皆就カス、士大夫相謂テ曰久、安石安カ出スンハ、蒼生

如何セシト、年四十餘ニシテ出
 ツ。○帝、在位十七年ニシテ崩ス、改元ス
 ル者ニツ、曰ク、永和、升平、嗣ナシ、成帝
 ノ子瑯琊王立ツ、是ヲ哀皇帝ト為ス
 [哀皇帝]名ハ丕、即位ノ二年ニシテ疾ニ寢
 ス、又一年ニシテ崩ス、改元スル者ニツ
 曰ク、隆和、興寧、弟瑯琊王立ツ、是ヲ帝
 奕ト為ス
 [帝奕]名ハ奕、成帝ノ幼子ナリ、既ニ位ニ
 即テ、會稽王昱ヲ以テ、丞相ト為ス。○
 桓温、哀帝ノ時ヨリ、大司馬ト為リ、中

髡參軍短主簿
 起ハ髡アリ、珣
 ハ短キ故ナリ

外諸軍事ヲ都督シ、尚書ノ事ヲ録ス、
 揚州ノ牧ヲ加ヘラル、移テ姑孰ヲ鎮
 ス、郗超ヲ以テ參軍ト為ス、王珣ヲ主
 簿ト為ス、人語ノ曰ク、髡參軍、短主簿、
 能ク公ヲ喜ハシメ、能ク公ヲ怒
 ラシムト。○燕人、洛陽ヲ攻メ、陷ル、成
 將之ニ死ス、温、師ヲ帥テ燕ヲ伐ツ、枋
 頭ニ戦フ、大敗メ、還ル。○燕ノ慕容垂、
 既ニ晋軍ヲ撃チ破ル、威名日ニ盛ナ
 リ、燕王之レヲ忌ム、垂、秦ニ奔ル。○秦
 ノ王猛、諸軍ヲ督シ、燕ヲ伐ツ、遂ニ鄴

〔挫〕推クナリ

伊霍ノ事、伊尹、
太甲ヲ放シ、霍
光、昌邑ヲ廢ス

ヲ圍ム、秦主苻堅、鄴ニ入ル、燕王慕容
暉ヲ執ヘ、以テ帰ル右、前燕ノ慕容皝、
ヨリ、命ヲ奉ノ王ト為ル、為ル、為ル、及テ、借
号シ、是ニ至テ三世、合メ三十四年
○晋ノ桓温、陰ニ不臣ノ志ヲ蓄フ、嘗
テ枕ヲ撫シ、歎シ曰ク、男子若ク百世
ニ流ク能ハスンハ、亦當サニ臭ヲ万
年ニ遺スヘシ、先ツ功ヲ河朔ニ立テ、
還テ九錫ヲ受ケント欲スト、既ニノ
妨頭ノ敗ニ及フ、威名頓ニ挫ク、郗超、
温ヲ勸テ、伊霍ノ事ヲ行ハシム、以テ
太威權ヲ立クヨト、温、遂ニ入朝シ、太后

不豫、病テ快カ
ラサルナリ、
〔故事〕孔明、王導、
嗣君ヲ輔立ス

ニ白メ、帝ヲ廢メ、海西公ト為ス、帝在
位六年、改元スル者一ツ、曰ク太和、會
稽王立ツ、是ヲ簡文皇帝ト為ス
〔簡文皇帝〕名ハ昱、元帝ノ子ナリ、清虛寡
欲、尤モ玄言ニ善シ、桓温、迎ヘテ位ニ
即ク、九タヒ月ヲ閱テ不豫ナリ、急ニ
桓温ヲ召シ、入リ輔ケシム、諸葛武侯
王丞相ノ故事ノ如シ〔諸葛武侯〕孔明
温、帝ノ終ニ臨テ、位ヲ禪ヲ望ム、否ラ
スハ、即チ攝ニ居セント、望ム所ニ副
ハス、時ニ謝安、王坦之、朝ニ在リ、温、疑

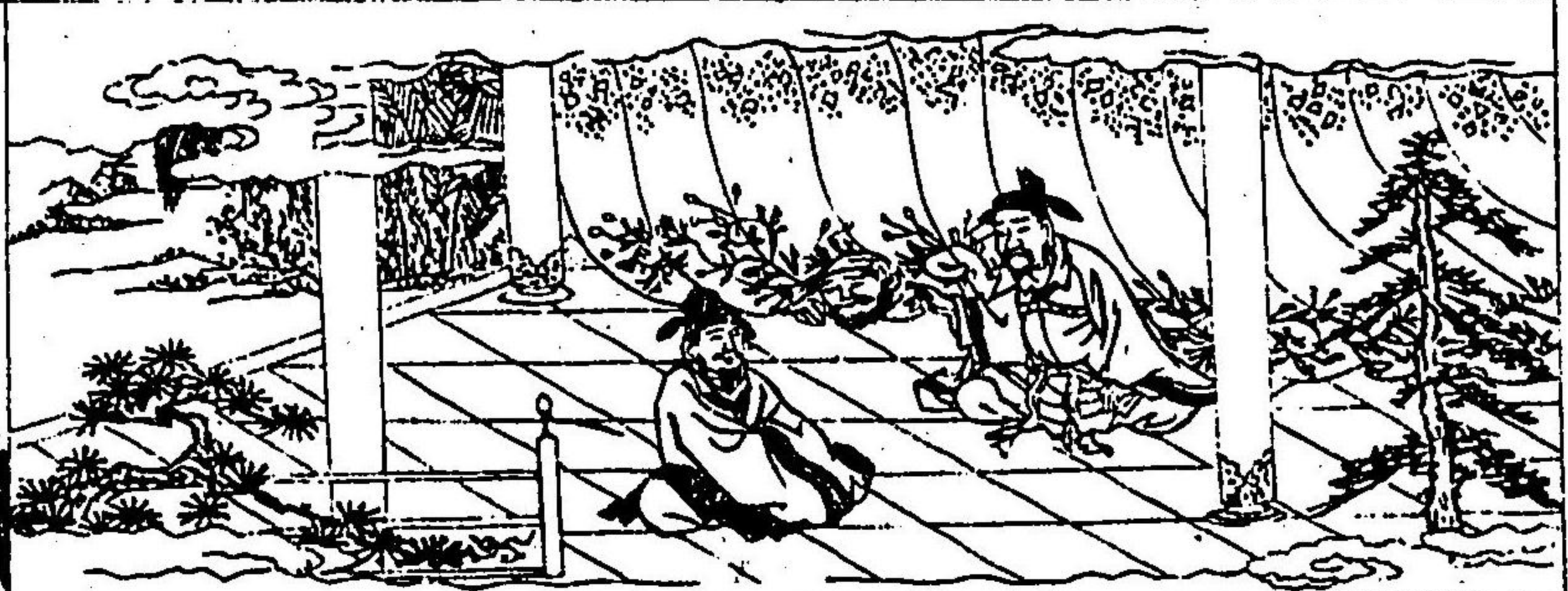
〔衝〕猶ヲ恨ムノ如キナリ

〔手板〕笏ナリ
〔從容〕迫ラサル
自正ニ自ラ云々言ハ、我自ラ懼心アリ〔入幕〕侍ノ臣、入幕ノ賓ト曰フ

ス、坦之ト安ト、其事ヲ沮ムト、心甚ク之ヲ衝ム、帝、在位改元スル者一ツ、曰ク、咸安、太子立ツ、是ヲ烈宗孝武皇帝ト為ス

烈宗孝武皇帝名ハ曜、字ハ昌明、年十歳ニシテ位ニ即ク○桓温、来朝ス、謝安坦之ニ詔シ、新亭ニ迎ヘシム、都下ノ人情恟々タリ、或人云フ、王謝ヲ誅シ、目ヲ晋祚ヲ移サント欲スト、坦之、甚ク懼ル、安、神色變セシ、温、既ニ至ル、百官道ノ側ニ拜ス、温、大ニ兵衛ヲ陳シ、

郝超帳中ニ卧ス圖



朝士ヲ延キ見ル、坦之、汗ヲ流シ、夜ヲ沾シ、倒ニ手板ヲ執ル、安、從容ニノ席ニ就キ、温ニ謂テ曰ク、安、聞ク諸侯道アレハ、守リ鄰國ニ在リト、明公何ソ壁後ニ人ヲ置テ須ユルヤト、温、笑テ曰ク、正ニ射ラサル能ハスト、遂ニ命メ之ヲ撤ス、安ト笑語シ、日ヲ移ス、郝超、帳中ニ卧シ、其言ヲ聴ク、風動シテ、帳開ク、安、笑テ曰ク、郝生ハ入幕ノ賓ト謂フ可シト、温、疾アツテ姑熟ニ還ル、疾篤シ、諷メ九錫ヲ求ム、安、坦

〔六合〕上下四方
〔晉江南〕二僻處
〔正朔相承〕然天
〔晉蜀漢〕正統
〔傳〕十

之、改ニ其事ヲ緩ス、尋テ卒ス。○秦ノ
丞相王猛卒ス、秦主堅之ヲ哭ソ曰ク、
天、吾ヲソ六合ヲ平一ニセシムルヲ
欲セサルヤ、何ソ吾カ景畧ヲ奪フノ
速ナルヤト〔景畧〕猛猛終ニ臨テ、堅ニ
謂テ曰ク、晉、江南ニ僻處スト雖モ、然
天正朔相承ク、上下安和ナリ、臣没ス
ルノ後、願クハ晉ヲ以テ圖ヲ為ス勿
レ、鮮卑慕容慕容西西卷姚氏姚ハ我カ仇敵ナリ
終ニ人ノ患ヲ為サン、宜ク漸ク之ヲ
除テ、以テ社稷ヲ安スヘシト。○涼、秦

〔遂〕名ナリ

二降ス、是ヨリ先キ、張玄靚ノ弟父天
錫、玄靚ヲ殺メ自立ス、王錫、酒色ニ荒
レ、政乱レ、秦之ヲ伐ツ、兵、姑臧ニ至ル
〔姑臧〕縣、永天錫、面縛ノ出ツ、長安ニ送
昌右右前前京京ノ張軌、愍帝ノ建興二年ニ
ル僭僭号号ノヨリ、張軌、愍帝ノ建興二年ニ
年十六、○代王拓跋什翼犍、カ世子寔、早
ク卒ス、繼嗣未ク定ラス、庶長子遂、其
ノ諸弟ヲ弒シ、什翼犍ヲ併セ殺ス、秦
兵ノ代ヲ撃ニ會フ、部衆逃潰ス、國中
大ニ乱ル、秦主苻堅、代ヲ分テ二部ト
為ス、河ヨリ以東ヲ、代ノ南部大人ノ官

魏書

劉曜傳

名劉庫仁ニ屬シ、河ヨリ以西ヲ、匈奴
劉衛辰ニ屬シ、其衆ヲ統ヘシム、代ノ
世子寔カ子珪尚ヲ幼ナリ、母賀氏、珪
ヲ以テ走リ、賀訥ニ依ル、已テニノ庫
仁ニ依ル、庫仁、珪ヲ奉メ息勤ナリ、廢
興ヲ以テ意ヲ易ヘス○晋、秦人ノ強
盛ナルヲ以テ、憂ト為シ、詔メ良將ノ
北方ヲ鎮禦ス可キ者ヲ求ム、謝安、兄
ノ子玄ヲ以テ詔ニ應ス、郗超之ヲ歎
ノ曰ク、安カ明、乃チ能ク衆ニ違テ、親
ヲ舉ク、玄カ才舉クル所ニ負カス、吾

履履ノ間周施
行歩ノ間モ皆
其道ヲ得ルナ

嘗テ其才ヲ使ヲ見ルニ、履履ノ間ト
雖モ、未ク嘗テ其任ヲ得スンハアラ
スト、玄、廣陵ヲ鎮ス、劉牢之等ヲ得テ、
參軍ト為ス、戰テ捷クサルナシ、北府
兵ト号ス、敵人之ヲ畏ル○秦兵ヲ遣
リ、道ヲ分テ晋ニ寇ス、諸郡ヲ陷ル、襄
陽ノ刺史朱序ヲ執ヘテ、以テ歸ル襄陽
南ニ屬ス、即已テニメ大舉ヲ議ス、或
チ南陽郡
人謂フ、晋、長江ノ險アリト、堅カ曰ク、
今吾カ衆ヲ以テセハ、鞭江ニ投スル
モ、其流ヲ断ツ可シ、又何ノ險ヲ之レ

文選

東晉武帝

卷之六

五

特_ニ足ラスト、時ニ中外、皆諫々惟慕
 容_垂姚萇其ノ囂ニ乘セント欲ス之
 ヲ勸テ南伐セシム、堅、遂ニ長安ノ成
 卒六十餘万、騎二十七万ヲ發ス、晋、謝
 石ヲ以テ征討大都督ト為シ、謝玄ヲ
 前鋒都督ト為ス、衆八万ヲ督メ之ヲ
 拒久、劉牢之、精兵五千ヲ帥テ、洛澗ニ
 趨キ、直ニ水ヲ渡テ、秦ノ前鋒梁成ヲ
 擊テ、之ヲ斬ル〔洛澗〕水、河南府、新安縣、
 洛_ニ石等、水陸繼テ進ム、堅、壽陽城ニ
 登テ望見ル〔壽陽〕郡、淮西ニ屬、晋ノ兵

感迫ナリ

部陳嚴整ナリ、又八公山ノ草木ヲ望
 見テ、皆ナ以テ晋ノ兵ト為ス〔八公〕山、
 此ニアリ、綱鑑ノ注ニ、漢時淮南王安、
 其ノ賓客八公ト、俱ニ此ノ山ニ登リ、
 故臺アリ、石上ニ名ツク、今、山ニ安カ
 然トメ懼ル色アリ、秦ノ兵、肥水ニ逼
 テ陣ス〔肥水〕信陽軍、丙方山ニ入ル、玄、人ヲ
 ヲ謂ハシメテ曰ク、陣ヲ移メ、却ク却
 ケ、我兵ヲメ渡ヲ得セシメヨ、以テ勝
 負ヲ決セン、可ナランカト、堅、晋ノ兵
 半渡ヲ聽テ、之ヲ感シト欲ス、兵ヲ麾
 テ却ケシム、秦ノ兵退ク、復止ル可ラ

龍頤

十八史略釋卷六

東晋武帝

三

〔墅〕田廬ヲ墅ト
 曰ス時ニ為ス
 以テ注ト喜極
 履齒云々喜極
 テ躍ル故ニ履
 齒折ル一説安
 鎮靜ノ後雖モ
 客去ノ後其喜
 日ヲ禁スル能
 ハス邊卒ニ戸
 ニ入り蹴踏ラ
 致スノニ非ス
 為スニ非ス

ス、朱序陣ノ後ニ在リ、呼テ曰ク、秦ノ
 兵敗ルト、朱序、秦ノ軍ニ在リト雖モ、
 是ニ至テ、遂ニ潰ユ、玄等勝ニ乗メ、追
 撃ツ、秦ノ兵、大ニ敗ル、走ル者鳳
 鶴、吹ヲ聞テ、皆以テ晋ノ兵至ルト為
 ス、豎、狼狽ノ長安ニ還ル。○慕容垂、秦
 ニ叛ク、河内ニ起ル、自ラ燕王ト称ス
 ○姚萇、秦ニ叛ク、北地ニ起ル。〔北地〕郡
 屬ス、今自ラ秦王ト称ス、是ヲ後秦ト
 為ス。○慕容冲、秦ニ叛ク、兵ヲ平陽ニ
 起ス、帝ト称ス、是ヲ西燕ト為ス、長安

謝安客下碁ヲ圍ハ圖



ヲ攻ム、秦主苻堅、出奔ス、後秦ノ主萇、
 執ヘテ之ヲ弒ス。○晋ノ太保謝安卒
 ス、安、文雅、王導ニ過ク、徳量アリ、秦ノ
 寇、至ニ方テ、朝野震動ス、安、夷然トシ、
 碁ヲ圍テ、墅ヲ賭ニス、捷書至ル、安方
 ニ客ト碁ス、覽畢テ、坐側ニ寘キ、喜ハ
 ル、色ナシ、碁罷ハ、客之レヲ問フ、徐ニ
 曰ク、小兒輩、已テニ遂ニ破ルト、客去
 ル、安、戸ニ入り、喜ヘル甚シ、履齒ノ折
 ル、ヲ覺ヘス、其情ヲ矯メ、物ヲ鎮ス
 ル、此ノ如シ。○秦主苻堅ノ子丕、帝ヲ

晉陽ニ稱ス○拓跋珪復タ立テ代王ト為ル、是ヨリ先キ、劉庫仁、其下ノ為ノニ殺サル、弟頭眷代テ其衆ヲ領ス、庫仁カ子頭頭眷ヲ殺メ自立ス、又珪ヲ殺サント欲ス、珪、加蘭部ニ奔リ、其舅ニ依ル加蘭秋名諸部ノ大人、珪ヲ推テ、主ト為ス、遂ニ王位ニ即ク、徒テ盛樂ニ居ル、後、改テ魏ト稱ス○燕王垂、帝ヲ中山ニ稱ス○西燕ノ人、其主沖ヲ弑シ、段隨ヲ立ツ、又隨テ殺メ、慕容忠ヲ立ツ、又忠ヲ殺シテ、慕容永ヲ

立ツ、永、秦ノ主苻丕ヲ擊ツ、丕、敗メ南ニ走ル、晉ノ將軍馬為メニ邀ヘ擊レテ、之ニ殺サル、慕容永、帝ヲ長子ニ稱ス長子縣路○秦ノ疏族苻登、帝ヲ南安ニ稱ス、後秦ノ姚萇、是ヨリ先キ、已テニ長安ニ入テ、帝ト稱ス、苻登、兵ヲ引テ、數後秦ト戦フ、互ニ勝負アリ○後秦ノ主姚萇卒ス、子興立ツ、登ヲ擊テ、之ヲ殺ス右、前秦ノ苻健、穆帝ノ弟、是ニ至テ、六年○燕主垂、西燕ヲ擊テ、長子ヲ拔ク、西燕主永ヲ殺ス○燕

〔流連〕孟子曰、唯
 ソク言ハ帝ニ本
 酒是レ樂ミ日
 夜厭ナシ、即チ
 流ヲ從ヒ遊蕩
 ノ如キナリ者
 〔長星〕妖星其ノ
 芒長シ〔寧康〕即
 位ノ二年改元

主垂卒ス、子寶立ツ○苻堅ノ敗レシ
 ヨリ、中原大ニ乱ル、共ノ大ナル者、慕
 容氏、姚氏、迭ニ大号ヲ舉久、其時ニ衆
 メ起ルハ、秦ノ故臣呂光ノ如キ、涼州
 ニ據テ涼天王ト稱ス、鮮卑ノ乞伏國
 仁〔乞伏〕氏隴右ニ據テ、西秦王ト稱ス
 國仁卒ス、弟乾歸之ニ繼久、後又鮮卑
 ノ秃髮烏孤ト云者アリ〔秃髮〕氏河西
 ニ起ル、南涼ト号ス○晋、秦ヲ敗リシ
 ヨリ以後、江左無事ナリ、會稽王道子
 ノ孝武政ヲ為ス、帝、酒ヲ嗜ミ、流連スル

帝酒ヲ舉クル圖



ノミ、長星見ユ、帝、酒ヲ舉テ之ニ向テ
 曰ク、長星、汝ニ一杯ノ酒ヲ勸ム、世豈
 ニ萬年ノ天子アランヤト○張貴人
 年三十、寵後宮ニ冠タリ、醉中ニ之ニ
 戲テ曰ク、汝モ年ヲ以テ亦當サニ廢
 ス可シ、吾カ意、更ニ少者ニ属スト、貴
 人、婢ヲソ被ヲ以テ、其面ヲ蒙ハシム、
 而ノ之ヲ弑ス、在位十五年、改元スル
 者、ニツ、曰ク、寧康、太元、太子立ツ、是ヲ
 安皇帝ト為ス
 〔安皇帝〕名ハ德宗、幼ニノ不慧ナリ、母言

〔已〕レヨリ出ル
ニ非ス〕常侍左
友為ニ之ヲ節
人、以テ其ノ口
体ニ適ス

フ能ハス、寒暑飢飽、弁セス、飲食寢興、
皆ナレヨリ出ルニ非ス、既ニ位ニ
即ク、會稽王、太傅ヲ以テ政ヲ輔ク○
魏王拓跋珪、連歲、燕ヲ改ム、進テ中山
ヲ圍ム、燕王慕容寶、出奔ス、後其ノ下
ノ為ソニ弒セラレ○燕ノ慕容祥、帝
ト稱ス、慕容麟、襲テ祥ヲ殺ソ自立ス
魏王珪、麟ヲ敗テ之ヲ走ラシム、慕容
德ニ奔ル〔德〕垂德カ為ソニ殺サル、德
往テ廣固ニ據ル〔廣固〕城、充後帝ト稱
ス、是ヲ南燕ト為ス○燕ノ慕容盛、帝

ヲ龍城ニ稱ス〔龍城〕綱目ニ、晉、成帝、
立ツ、命ケテ龍城西ニ築テ、宗廟宮闕ヲ
郡、又其東北ニ在リ、龍山、是ヲ北燕ト為
ス〔北燕〕更ニ後○魏王珪、帝ト稱ス、平
城ニ都ス○涼ノ段業、涼王ト稱ス、張
掖ニ據ル、是ヲ北涼ト為ス○晉ノ會
稽王道子、專ラ政事ヲ以テ世子元顯
ニ委ス、晉ノ政乱ル、東土囂然タリ、狄
賊孫恩、民心ノ騷動スルニ目テ、海島
ヨリ出テ、乱ヲ作ス、劉裕、恩ヲ討メ、功
アルニ目テ起ル○北涼ノ沮渠蒙遜

沮渠〔沮渠〕氏名段業ヲ弒シテ自立ス、蒙遜ハ、匈奴ノ種ナリ、後、姑臧ニ遷ル。○涼王呂光卒ス、子紹立ツ、庶兄纂弒シ、之ニ代リ、呂超又纂ヲ弒シ、其兄隆ヲ立ツ、隆後、秦ニ降ス、右、後涼ノ呂光、孝武皇帝ヨリ、是ニ至テ、四○隗西ノ李嵩、燉煌ニ據ル〔燉煌〕郡名、是ヲ西涼ト為ス、後酒泉ニ徙ル。○柔然、漠北ヨリ起テ、高車ノ地ヲ奪テ、之ニ居ス〔柔然〕初ハ、柔然ト云フ、至テ、始テ諸部ヲ吞併ス、士馬繁盛、北方ニ雄ナ

〔羈縻〕ナリ

〔才地〕才能、門地

其地、西ノ方、焉耆ニ至ル〔焉耆〕國、西域ニアリ、東ハ、朝鮮ニ接ス、南ハ、大漠ニ臨ム〔大漠〕、代北傍ノ小國、皆羈縻屬ノ魏ト敵タリ、○晋ノ盜孫恩、劉裕等カ為シテ敗ラル、海ニ赴テ死ス、其黨盧循、徐道覆復起ル。○晋ノ桓玄反ス、初ノ玄父温ニ嗣テ、南郡公ト為ル〔南郡〕即其才地ヲ負シテ、椎豪ヲ以テ自ラ處ル、嘗テ義興ニ守タリ歎ノ曰ク、父ハ九州ノ伯タリ、兒ハ五湖ノ長タリト〔義興〕縣、屬ス、地、五湖ニ濱ス、故ニ〔義興〕ニ守タルヲ謂テ、五湖ノ長ト曰フ、五湖、高程

八州ノ軍事先
二荆、湘、雍、秦、梁
益、寧、都督ス
又固ク江州ヲ
求ム、遂ニ八州
ヲ督ス

縣ノ界ニ在リ、周禮ノ注ニ、湖、
方五百里、故ニ五湖ト曰フ
テ、國ニ歸ル郡南後、江州ノ刺史ト
為ル、尋テ荆江等ノ八州ノ軍事ヲ都
督ス、江陵ニ據ル、是ニ至テ、兵ヲ舉テ
建康ニ入ル、元頭ヲ殺シ、又道子ヲ殺
ス、玄、相國ト為テ、楚王ニ封セラレ、九
錫ヲ加フ、已テニノ帝ニ迫テ、位ヲ禪
ラシム、劉裕、兵ヲ京口ニ起シテ、玄ヲ
討ス京口郡、江浙ニ屬玄カ兵ト戦フ、
大ニ之ヲ破ル、玄、出テ走ル、首ヲ江陵
ニ斬ル、帝、位ニ復ル、劉裕、京口ヲ鎮ス

〔統〕手舉ルヲ、
ト曰フ

○秦ノ赫連勃赫連ハ氏名、
リ秦ニ叛ク、朔方ニ據ル、自ラ大夏天
王ト称ス、勃々ハ故ノ匈奴ノ劉衛辰
カ子ナリ○晋、南燕ヲ伐ツ、是ヨリ先
キ、南燕ノ主慕容徳卒ス、兄ノ子超立
ツ、晋、邊ヲ侵畧ス、劉裕、表ヲ抗メ、之ヲ
伐ツ○北燕、其臣馮跋力為メニ滅サ
ル、是ヨリ先キ、北燕ノ主盛、其下ノ為
メニ弒セラル、弟父熙立ツ、跋、罪ヲ熙
ニ得タリ、之ヲ弒メ、熙ノ養子高雲ヲ
立ツ、未タ幾ナラスシテ、又雲ヲ弒メ

〔狼〕疾ナリ〔無賴〕
生業ヲ顧ス、法
律ヲ畏レス、一
説、無賴ハ、但俗
ノ語ナリ、奪攘
苟モ得テ愧
ナキ者ヲ謂
フ恥

自立ス右、後燕ノ慕容垂、孝武ノ太元
五世、合ノ〇魏主、人ノ夫ヲ殺シ、其妻
ヲ納ル〔妻〕賀太之ト子紹ヲ生ム、亮狼
無賴ナリ、珪ヲ弑ス、齊王嗣道武ノ紹
ヲ殺シ立ツ、珪ヲ道武皇帝ト謚ス、廟
ヲ烈祖ト号ス〇晋ノ劉裕、廣固ヲ拔
ク、慕容超ヲ執ヘテ、建康ニ送テ、之ヲ
斬ル、南燕亡フ右、南燕ノ慕容德、安帝
ヨリ、是ニ至ル、ニ〇盧循、劉裕力北伐
ニ乗メ、番禺ヨリ出テ〔番禺〕郡、名、直
ニ下テ、建康ヲ襲ス、劉裕、徵サレテ急

ニ還ル諸軍力戦ス、循、乃チ退ク、裕、追
テ之ヲ破ル、循、交州ニ走ル、刺史ノ為
ノニ敗ラル、首ヲ斬テ、建康ニ送ル〔刺
杜慶〇西秦ノ乞伏乾歸、其ノ下ノ為
ノニ弑セラル、子熾盤立ツ〇西秦襲
テ南涼ヲ滅ス、是ヨリ先キ、南涼ノ主、
秃髮烏孤卒ス、弟利鹿孤立ツ、卒ス、弟
傜檀立ツ、是ニ至テ、乞伏熾盤力為ニ
襲ハル、傜檀ヲ以テ、歸リ之ヲ殺ス、南
涼亡フ右、南涼ノ秃髮烏孤、安帝ノ隆
テ、三世合〇後秦ノ主、姚興卒ス、子泓

立ツ、晋ノ太尉劉裕、之ヲ伐ツ、彭城ヲ
 發シ、洛陽ヨリノ武關潼關ニ道ノ、長
 安ニ入ル潼關華陰弘敗テ出テ降ル、
 建康ニ送テ、之ヲ斬ル、後秦七右後
 姚萇、孝武ノ大元九年ニ、僭号ノヨ
 リ、是ニ至テ、三世、合ノ二十四年
 夏主勃々、裕カ秦ヲ伐ト聞テ、曰ク、裕
 必ス関中ヲ取ラン、然氏久ク留ル能
 ハシ、若シ子弟諸將ヲ以テ、之ヲ守ラ
 ハ、吾レ之ヲ取ラン下、芥ヲ拾フカ如
 キノミト、是ニ至テ、三秦ノ父老、裕カ
 將サニ還ントスルヲ聞テ、門ニ詣テ、

〔歸〕一ニ都ニ作

〔隆安〕即位ノ二
年改元

流涕メ曰ク、殘民、王化ニ霑カハサル、今
 ニ於テ百年、始テ衣冠ヲ觀テ觀ル、人
 々相賀ス、公此ヲ捨テ何ニ之ント欲
 スルヤト、裕、彭城ニ還ル、勃々、長安ヲ
 陷テ、帝ト稱ス、統万ニ歸ル統州万ニアリ、
 勃々カリ○晋、裕ヲ以テ相國宋公ト為
 シ、九錫ヲ加フ、裕、識ニ昌明ノ後、尚ヲ
 ニ帝アリト云フ以テ、乃チ人ヲノ晋
 帝ヲ繼ラシノ、之ヲ殺ス〔入〕王帝、在位
 二十三年、改元スル者ニツ、曰ク、隆安、
 義熙、義熙元年ヨリ、十四年ニ至ル、則

チ劉裕、政ヲ為ス日ナリ、弟瑯琊王立
ツ、是ヲ恭皇帝ト為ス

〔恭皇帝〕名ハ德文、即位ノ明年、劉裕、爵ヲ

進テ、宋王ト為ル、彭城ヨリ移テ、壽陽

ヲ鎮ス、又明年、裕、建康ニ還ル、帝在位

改元スル者一ツ、曰ク、元熙、位ヲ裕ニ

禪ル、已テニソ弒セラレ、東晋、元皇帝

ヨリ是ニ至ル、凡テ十一世、一百四年、

甲晋、東晋、通ノ一百五十六年ニソ七

フ

○南北朝 南朝、晋ヨリ以テ之ヲ宋ニ傳
フ、齊、梁、陳ニ傳

傳フ、北朝、諸國魏ニ併セラレテ
ハ、魏、後、分テ、西魏、東魏ト為ル、
後、周、北齊、南齊、併セテ、後周ニ傳
フ、隋、陳ヲ滅メ、而テ後、南、北、混
一ト為ル、今南ヲ以テ提頭ト為ス、
而ニ北ヲ其間ニ附ク

○宋 劉裕ハ、彭城ノ人ナリ、彭城ハ、古
建康ニ號シ、建康ニ故都ニシテ、
卒ニ晉ノ禪ヲ受テ、宋王ニ封セラレ、

高祖武皇帝 姓ハ劉氏、名ハ裕、彭城ノ人
ナリ、相傳テ漢ノ楚ノ元王交ノ後ト

為ス、交ノ十六世、楚ノ王、裕、生テ
母死ス、父、京口ニ倚居ス、將サニ之ヲ

棄シトス、從母、救テ之ヲ乳ス、長スル

〔倚居〕寓居ヲ、
居ト曰フ、〔從母〕
母ノ姉妹ナリ

寄奴大蛇ヲ傷ク圖



ニ及テ、勇健ニシテ大志アリ、僅ニ字ヲ
識ル小字ハ寄奴、嘗テ行テ大蛇ニ遇
フ、撃テ之ヲ傷ル、後、其所ニ至ル、群兒
ノ藥ヲ擣アルヲ見ル、裕、問フ何ヲカ
為ルト、答テ曰ク吾カ王、劉寄奴カ為
ノニ傷ラルト、裕カ曰ク、何ソ之ヲ殺
サ、ル、見ノ曰ク、寄奴ハ、王者ナリ、死
セスト言ハ、自ラ威靈アリ、得裕、之ヲ
叱ス、即チ散ノ見ヘス、初メ劉牢之カ
軍事ニ參タリ、嘗テ賊ヲ覘ハシム、賊
数千ニ遇フ、裕、長刀ヲ奮テ、獨之ヲ驅

歌世紀ニ欲ニ
作ル

ル、衆軍目テ勢ニ乘シ、進ミ撃テ、大ニ
之ヲ破ル、裕、是ニ由テ、名ヲ知ラル、其
後將相タルニ十餘年、桓玄ヲ誅シ、孫
恩、盧循ヲ平ク、南燕、後秦ヲ滅シ、卒ニ
晋ノ禪ヲ受ク○西涼ノ李暠卒ス、暠
ノ武昭王ト曰フ、子歆立ツ、數年、是ニ
至テ、北涼ノ沮渠蒙遜カ為ノニ誘ル、
与ニ戰テ、之ヲ殺ス、西涼亡フ○李暠、
晋ノ安帝隆安三年ニ、僭号ノヨ○宋
主、在位三年、改元スル者一ツ、曰ク永
初、殂ス、太子立ツ、是ヲ廢帝、兼陽王ト

為ス亦曰文帝

晉徵士晉者
 其節ヲ宋ニ屈
 七サレナリ五
 斗米縣ノ令ノ
 月俸米十斗五
 日ニ五斗今ノ
 五斗合五斗
 二當ルハ五折
 上拜捐ナリ折
 指小兒督郵ヲ
 指スナリ

文帝榮陽王名ハ義符年十七ニ即位
 ス、喪ニ居レ、礼ナク遊戯度ナシ○魏
 主嗣殂ス、明元皇帝ト謚ス、廟ヲ太宗
 ト号ス、子熹立ツ○宋主、在位三年、改
 元スル者一ツ、曰ク、景平、徐羨之、傅亮
 謝晦、廢ノ之ヲ弒ス、宜都王立ツ置都
 州ニ是ヲ太祖文皇帝ト為ス
 文皇帝名ハ義隆、武帝ノ第三子ナリ、素
 ヲリ、令望アリ、少帝廢ヤラル、迎ヘ入
 ラレテ位ニ即ク○夏主勃々殂ス、子

陶潛印綬ヲ解テ去ル圖



昌立ツ○晉ノ徵士陶潛卒ス、潛、字ハ
 淵明、潯陽ノ人潯陽郡ノ名、陶侃力曾
 孫ナリ、少シ高趣アリ、嘗テ彭澤ノ令
 ト為ル彭澤縣、九八十日ニシテ郡ノ督
 郵至ル、吏ノ曰ク、應ニ束帶ノ之ヲ見
 ルヘシト、潛歎メ曰ク、我レ豈ニ能ク
 五斗米ノ為メニ腰ヲ折テ、郷里ノ小
 兒ニ向シマト、即日ニ印綬ヲ解テ去
 ル、歸去来ヲ辞ヲ賦シ、五柳先生ノ傳
 フ著ス、徵氏就カス五柳先生、潛、是ニ
 至テ、世ヲ終ス、靖節先生ト号ス○魏

〔暮木〕一本暮木
二作ル

教夏ト戦フ、是ニ至テ、其主昌ヲ執ヘ
テ、以テ帰ル。○夏ノ赫連定、帝ヲ平涼
ニ称ス。〔平涼〕府、鞏西平○西秦ノ主
乞伏熾、盤卒ス、子暮木立ッ。○北燕、馮
政殂ス、弟弘立ッ。○夏主定、西秦ヲ擊
テ、暮木ヲ以テ帰ル、之ヲ殺ス、西秦亡
フ。右、西秦ノ乞伏國仁、晋ノ孝武帝大
元七年ニ、僭号ノヨリ、是ニ至テ、四
世、合メテ定、又北涼ヲ擊テ、其地ヲ奪
ハシト欲ス、吐谷渾、其軍ヲ襲ヒ、定ヲ
執ヘテ、魏ニ送ル、夏七フ○北涼ノ沮渠
二帝、義熙四年ニ、僭号ノヨリ、是吐谷渾
至テ三世、合メテ二十一年

〔詩〕靈運、自ラ以
ラク、世々晋ノ
臣タリト、改ニ
是詩ヲ賦ス。字
房奮、事三ノ卷
ニ見ヘタリ。魯
連、耻初ノ戰、國
秦ヲ尊テ、帝号
ヲ為シ、ト欲ス、
魯仲連、之ヲ耻

ハ、慕容氏ノ別種ナリ。○北涼ノ沮渠
蒙遜卒ス、子牧犍立ッ。○宋ノ謝靈運
罪ヲ以テ誅セラル、靈運、好テ山澤ノ
遊ヲ為ス、徙者教百人、木ヲ伐リ、徑ヲ
開ク、百姓驚擾ス、或人其異志アルヲ
表ス、靈運、闕ニ詣テ、自ラ陳ス、宋主、以
テ臨川ノ内史ト為ス。〔臨川〕郡、江西ニ
屬ス、今ノ撫州
府、遊牧自若タリ、有司、之ヲ糾メ、収メ
ラル、靈運、兵ヲ興メ、逃逸ス、詩ヲ作テ
曰ク、韓亡テ子房奮フ、秦帝ニ魯連
耻ット、追討メ、之ヲ擒ニシ、廣州ニ徙

〔沙門〕僧ナリ、表
家カ曰ク、沙門
漢言ニ、息ナリ、
蓋シ、意ヲ息ヒ
欲テ去テ、無
為ニ帰ス

ス、已テニノ棄市セラレ、○魏、燕ヲ伐
リ、馮弘、高麗ニ奔ル〔高麗〕國、遼而ノ殺
サル、燕七フ右北燕、馮政、晋ノ安帝、
是ニ至テ、八年、○魏、涼ヲ伐ツ、姑臧潰
合ノニ至テ、後、殺サル、北涼亡フ右、北
沮渠蒙遜、晋ノ安帝、隆安五年ニ僭号
ノヨリ、是ニ至テ、二世、合ノニ至テ、四年
○魏、其ノ司徒崔浩ヲ殺ス、浩、明元ノ
時ヨリ、已テニ謀臣タリ〔明元〕魏ノ太
輒チ功アリ、道士寇謙之ヲ信ス、魏主
ニ勸テ崇奉セシム、天師ノ道場ヲ立
ツ而シテ最モ佛法ヲ惡シ、沙門ヲ誅ス、

〔刊〕刻ナリ

佛像佛書ヲ毀ツ、魏主、浩ニ命メ、國史
ヲ修セシム、先世ノ事ヲ書メ、皆實ヲ
詳ニス、石ニ刻シ、之ヲ衢路ニ立ツ、北
人、忿恚シ、浩カ國惡ヲ暴揚スルヲ譖
ス、魏帝、大ニ怒テ、遂ニ案メ之ヲ誅ス、
其族ヲ夷ク、○宋、魏、連年互ニ相侵伐
ス、王玄謨、宋ヲ勸テ大舉セシム、沉慶
之、諫テ曰ク、畔ハ、當ニ奴ニ問フヘシ、
織ハ、當ニ婢ニ問フヘシ、陛下今國ヲ
伐ント欲ス、奈何ノ、白面ノ書生ノ輩
ト之ヲ謀ルト、宋、竟ニ玄謨ヲノ師ヲ

龍頤

十八史略卷六

南北朝宋

墨

〔集〕稍ト同シ、通俗文ニ曰ク、牙ノ文、八尺ヲ、稍ト曰フ、赤地、焚掠シ、盡ルナリ、一説ニ、赤地ハ、地ニ在ルノ物、皆盡ルヲ謂フ、ナリ、燕云々、ナシ、巢フ可キ

憚ニ足ラスト、是ニ至テ、長驅ス、能禦ク者ナシ、宋人、或ハ玄謨ヲ斬ラシト欲ス、沈慶之、之レヲ止メテ曰ク、佛狸、魏帝ノ威、天下ニ震フ、控弦百万、豈ニ玄謨、能ク當ル所ナランヤ、戦将ヲ殺メ、以テ自ラ弱ムルハ、計ニ非ルナリト、魏ノ師還ル、殺掠勝テ計ル可ラス、丁壮ノ者ハ斬截シ、嬰兒ハ繫上ニ貫ク、盤舞ノ以テ戯ラ為ス、過ル所ノ郡縣、赤地、餘ナシ、春燕帰テ、林木ニ影フ、宋主、即位ヨリ二十八年ノ間、号ノ

〔東宮〕太子ノ府ヲ、東宮ト曰フ、〔事〕覺ル初メ、過失多シ、教ク、上、為ル、遂ニ誥責セラル、遂ニ誥育ト共ニ巫、嚴道ヲ為ス、玉ヲ琢ノ上、形象ヲ為ク、埋ム、陳ノ前ニ、以テ慶、乃具ス、上、驚テ、即チ劾ヲ収ヘリ、劾カ呪詛巫、盡ノ書ヲ得

小廉ト為ス、是ニ至テ、兵革ノ後、邑里蕭條タリ、元嘉ノ政衰ヌ○魏ノ中常侍宗愛、東宮ノ官屬ヲ譖ス、多ク坐セラレテ誅死セラル、太子晃、憂ヲ以テ卒ス、魏主追悼ノ、ヒマス、愛懼テ主ヲ弒ス、後、謚ノ太武皇帝ト曰フ、廟ヲ世祖ト号ス、晃ノ子濬立ツ、愛ヲ討論メ、之ヲ誅ス○宋ノ太子劭、巫蠱呪詛ス、事覺ル、宋主、之ヲ廢セント擬ス、劭、主ヲ弒メ自立ス、主、在位三十年、改元スル者一ツ、曰ク、元嘉、武陵王兵ヲ舉テ、

〔孝建〕即位ノ二年改元

劾ヲ誅ス、王立ツ、是ヲ世祖孝武皇帝ト為ス

〔孝武皇帝〕名ハ駿、文帝ノ第二子ナリ、位

ニ即テ、十二年ニノ殂ス、改元スル者

ニツ、曰ク、孝建、曰ク、大明、太子立ツ、是

ヲ廢帝ト為ス

〔廢帝〕名ハ子業、位ニ即キ、喪ニ居テ、傲情

ニノ、穢容ナシ、孝武、骨肉ヲ踈忌シ、誅

殺スル多シ、是ニ至テ尤甚シ○魏帝

濬殂ス、謚ノ文成皇帝ト曰フ、廟ヲ高

宗ト号ス、初メ太武、四方ヲ經營ス、國

諸父云々諸父ノ外ニ在テ患ノ為ヲ畏忌シ、皆之ヲ建康ニ聚メ、殿内ニ拘ハ、毆擗陵曳ス、復人理ナシ、親ヲ親ミ、長ニ悌ス、廢帝ハ、人ノ常理、廢帝之ニ悖ル、景和即位ノ二年改元

頗ル虚耗ス、文成、嗣テ以テ鎮靜ス、中

外ヲ懷集ス、人心復安シ、子弘立ツ、○

宋主、諸父湘東王等ヲ畏忌シ、殿内ニ

幽ヘ、擗曳シ、復人理ナシ、恣ニ不道ヲ

為ス、中外騷然タリ、宋人之レヲ弑ス、

在位二年、改元スル者、一ツ、曰ク、景和

湘東王立ツ、是ヲ太宗明皇帝ト為ス

〔明皇帝〕名ハ彧、文帝ノ第十一子ナリ、即

位ノ八年ニ殂ス、改元スル者、一ツ、曰

ク、泰始、帝ノ初ヨリ、蕭道成、兵ニ將ト

ノ征討ノ功アリ、尋テ淮陰ヲ鎮ス、象

顧命遺命ヲ兼
ク嗣君ヲ輔ル
ヲ顧命ト曰フ

後廢帝道成等
太后ノ令ヲ以
テ帝ヲ追廢ス
蒼梧王ト為ス

俊ヲ收養ス、賓客始テ盛ナリ、已テニ
ノ南兗州ノ刺史ト為ル南兗州宋揚
州廣陵ヲ改
テ、南兗州是ニ至テ、褚淵薦テ右衛將
軍ト為ス、顧命ノ大臣ト共ニ機事ヲ
掌トル、太子立ツ、是ヲ後廢帝ト為ス
後廢帝名ハ昱、明帝子ナシ、昱實ハ嬖人
李道兒ノ子ナリ、明帝之ヲ子トス、諸
王十五六人ヲ殺ス、惟昱ノ立サルヲ
恐ル初メ上、疾ニ寢ス、太子幼弱ナル
仁、休若等皆死ヲ賜フ、諸弟俱ニ盡ク、休
惟休範ノミ、人オ凡劣ナルヲ以テ忌
全キ所トナラス、十歳ニシテ位ニ即ク、桂

浮屠佛ナリ

陽王桂陽國、連休範兵ヲ舉テ及ス、建
康ヲ攻ム、蕭道成擊テ之ヲ斬ル、道成
中領軍ト為ル、○是ヨリ先キ、魏ノ獻
文帝弘位ヲ太子宏ニ傳フ、自ラ太上
皇帝ト稱ス、宏カ幼ナルヲ以テ仍ヲ
万機ヲ總ス、太上、聰睿夙成、剛毅ニシテ
断アリ、而シテ黄老浮屠ノ學ヲ好ム、故
ニ常ニ遺世ノ意アリ、其母馮太后幸
スル所ノ李爽ト云者アリ、太上ノ為
シニ誅セラル、馮太后怒リ、遂ニ之ヲ
弒シ、制ヲ稱ス、宋主、驕恣ニシテ殺ヲ嗜

〔元徽〕即位ノ二年ニ改元

〔彈指〕即チ嗚指ナリ、悵悵ノ状

ハ、中外憂惶ス、蕭道成、袁粲、褚淵ト廢立ヲ謀ル、粲、可カス、淵、之ヲ贊ク、遂ニ之ヲ弒ス、在位六年、改元スル者、一ツ、曰ク、元徽、安成王立ツ、是ヲ順皇帝ト為ス

〔順皇帝〕名ハ準、桂陽王休範カ子ナリ、明帝、之ヲ子トス、是ニ至テ、即位ス、○袁粲、蕭道成ヲ誅センヲ謀ル、褚淵ノ其謀ヲ以テ道成ニ告ク、粲、父子俱ニ石頭城ニ殺サル、百姓之ヲ哀テ曰ク、憐ハ可シ、石頭城、寧口袁粲カ死ヲ為

袁粲父子石頭城ニ殺サレテ



ストモ、褚淵カ生ヲ作サシト、沈攸之モ、亦兵ヲ江陵ニ舉ク、道成ヲ討ス、軍潰ニ走テ縊リ死ス、道成、相國齊公ト為ル、九錫ヲ加フ、已テニノ爵ヲ進テ、王ト為ル、宋主、在位三年、改元スル者一ツ、曰ク、昇明、齊ニ禪ル、泣テ彈指ノ日久、願クハ後身世々、復天王ノ家ニ生ル、勿レト、齊、之ヲ弒メ、其族ヲ滅ス、宋、高祖ヨリ、是ニ至テ、八世、凡テ五十九年ニシテ

○齊蕭道成、存王ト為リ、已テニ建禪ヲ受ク、遂ニ存ヲ以テ國号ヲ建禪

改元ノ、隆昌ト曰ス西昌侯鸞之ヲ弒
 ス、新安王立ツ〔新安〕郡、江東ニ屬是ヲ
 廢帝海陵王ト為ス〔海陵〕郡、淮東ニ屬
 〔廢帝海陵王〕名ハ昭文、〔昭文〕王ノ鸞力為
 ヲニ立テラル、延興ト改元ス、鸞自ラ
 宣城王ト為ル〔宣城〕郡、南陵名、帝位ニ即
 未夕四月ナラス、廢ノ之ヲ弒ス太
 右ノ令ヲ以テ、帝ヲ追ヒ廢ノ宣城王
 海陵王ト為シ、尋テ之ヲ弒ス、宣城王
 自立ス、是ヲ高宗明皇帝ト為ス
 明皇帝名ハ鸞、高帝ノ兄ノ子ナリ〔冠〕始
 王貞高帝之ヲ愛スルト巴レカ子ヨリ

高武〔高帝武帝〕

〔廢帝東昏侯〕行
 太后ノ令ヲ以
 テ、帝ヲ追ヒ廢
 ノ、東昏侯ト為
 ス

七、過ク、而ソ武帝ノ太子長懋、最モ之
 ヲ惡ム、志ヲ得ルニ及テ、高武ノ子孫
 ヲ殺シ、遺類ナシ、位ニ即テ、五年ニ殂
 ス、改元スル者、ニツ、曰ク、建武、永泰、太
 子立ツ、是ヲ廢帝東昏侯ト為ス
 〔廢帝東昏侯〕名ハ宝卷、東宮ニ在ルヨリ、
 學ヲ好マス、嬉戲度ナシ、既ニ位ニ即
 ク、朝士ニ接セス、惟嬖倖ヲ親信ス、屢
 大臣ヲ誅ス○魏主宏殂ス、在位二十
 七年、仁孝恭儉、礼ヲ制シ、樂ヲ作ス、〔蔚〕
 然ト太平ノ風アリ、胡服胡語ヲ禁ス、

潘妃潘氏ノ貴
妃ナル者ナリ

蓮花或人曰ク
佛法ニ極樂ニ
生スルノ時佛
リ是ノ時佛法
流行ス、故ニ
戲ヲ信ス、故
スナリ

姓ヲ元氏ト改ム帝ニ出ク、魏ノ先、黄
テ王ナリ、且ク夫レ元氏ト改ム、色ハシ物ノ
都ヲ洛陽ニ遷ス、魏ノ盛徳ノ主タル
カ為ノニ、謚ノ孝文皇帝ト曰フ、廟ヲ
高祖ト号ス、太子恪立ツ○齊主、昏淫
狂恣ナリ、金ヲ以テ蓮花ヲ為シ、地上
ニ貼シテ、幸スル所ノ潘妃ヲシテ之レ
ヲ妬マシム、曰ク、此レ歩々蓮花ヲ生
スルナリト、左右ノ事ヲ用ユル者、賊
虐日ニ甚シ、太尉陳顛達先ツ兵ヲ舉
テ、建康ヲ襲ス、敗死ス、將軍崔慧景命

齊主在恣ノ圖



ヲ受テ、出テ叛州ヲ討ス、兵ヲ還ソ建
康ニ逼ル、時ニ南豫州ノ刺史蕭懿南
州齊、歴陽ヲ改テ、兵ヲ將テ近キニ在
南豫州ト為ス、兵ヲ將テ近キニ在
リ、齊主、急ニ召シ入テ援ケシム、慧景
敗死ス、懿ヲ以テ尚書ト為ス、懿カ弟、
南雍州ノ刺史衍南雍州、襄陽ニ於
人ヲノ懿ニ勸メ伊霍ノ事ヲ行ハシ
ム、尔ラサレハ亟ニ歴陽ニ還レト、懿
用ユル能ハス、竟ニ死ヲ賜フ、衍、兵ヲ
襄陽ニ起シ、引テ東ノ方建康ヲ圍ム、
齊人、主ヲ弑シ、行ヲ迎テ、主、在位三年、

〔二年〕永明三年
三月、即位シ、改
元ス、次ノ年、四
月、位ヲ禪ル

改元スル者、一ツ、曰久、永元、時ニ南康
王〔南康〕府、江先ニ已テニ自立ス、是ヲ
和皇帝ト為ス

〔和皇帝〕名ハ宝融、明帝ノ第八子ナリ、東

昏ノ未、宝融、兵ヲ江陵ニ起シ、已テニ

ノ帝ト称ス、改元ノ中興ト曰フ、未夕

東帰ニ及ハス、齊太后、制ヲ称シ、蕭衍

ヲ以テ相國ト為ス、梁公ニ封ス、九錫

ヲ加ス、尋テ爵ヲ進テ王ト為ル、齊主

姑熟ニ至リ、詔ヲ梁ニ禪ル、位ニ即テ

ヨリ僅ニ一年ニノ弒セラル、齊高帝

ヨリ、是ニ至テ、七世、凡テ二十三年ニ

ノセフ

○梁蕭衍、梁王ニ封セラル、尋テ禪ヲ受

〔高祖武皇帝〕姓ハ蕭氏、名ハ衍、齊ノ疎族

ナリ、母ハ張氏、苕蒲ノ花ヲ生スルヲ

見ル、旁人ハ皆見ス、之ヲ吞ム、已テニ

ノ衍ヲ生ム、梁齊ト同ク、蕭何ノ二十

生ム、鎔、嗣子ヲ生ム、嗣子、道賜ヲ生ム、英

△、道賜、順之ヲ生ム、順之、衍ヲ生ム、英

達ニノ文學アリ、東昏ノ初メ、衍、襄陽

ヲ鎮ス、齊ノ將サニ乱レントスルヲ

知テ、乃チ密ニ武備ヲ修ム、驍勇ヲ聚

岡阜山脊ヲ岡
ト曰フ、土山ヲ
阜ト曰フ、牙ヲ
建ツ、將軍ノ旂
ヲ、牙ト曰フ、其
國ノ爪牙ト爲
ルニ取ルナリ

ル、万ヲ以テ數フ、材ヲ伐テ檀溪ヲ沈
ム、檀溪襄陽ノ城西ニアリ、積ム、岡阜ノ如シ、
兄懿死ス、行、牙ヲ建テ、衆ヲ集ム、檀溪
ノ竹木ヲ出シ、艦ヲ装テ、之ヲ葺ニ、莚
ヲ以テス、事皆ナ立トコロニ弁ス、兵
起テ一年餘、遂ニ建康ニ入ル、禪ヲ受
ケテ、帝位ニ即ク、○魏主恪死ス、謚ノ
宣武帝ト曰フ、廟ヲ世宗ト号ス、子詡
立ツ、甫テ六歳ナリ、母胡氏、制ヲ稱ス、
魏主、既ニ長スルニ及テ、遊騎ヲ好ム、
朝ヲ視ルヲ親ラセス、而シテ胡后モ、方

封事密封ノ事
ヲ言ス、虎賁勇
ナリ、虎ノ獸ヲ
賁スルカ如ク、
其勇ヲ言フナ

ニ淫乱ナリ、魏ノ政始テ乱ル、將軍張
彊ノ子仲瑀、封事ヲ上テ、武人ヲ排抑
ス、喧謗路ニ盈ツ、擄ヲ大巷ニ立テ、期
ヲ剋メ、會集ノ其家ヲ屠ル、彊父子以
テ意ト爲サス、是ニ至テ、羽林、虎賁、十
人ニ近シ、相率テ尚書ノ省ニ至リ、詬
罵ノ瓦石ヲ以テ、省門ヲ擊ツ、上下懼
懼メ、敢テ禁討セズ、遂ニ彊カ、彊ニ至
テ、其舎ヲ焚キ、彊父子ヲ曳テ、歐擊メ、
火中ニ投ス、仲瑀、重ク傷テ走リ免ル、
彊死ス、遠近震駭ス、胡后、其凶強ハ人

ヲ収テ之ヲ斬ル、餘ハ復治セス、大赦
 ノ以テ之ヲ安シ、懷朔鎮ノ函使高
 歡〔懷朔鎮〕即チ朔州、魏ニ懷朔鎮ト曰ク
 州ト為テ山西ニ屬ス〔函使〕凡書表ハ、
 皆ナト函封ナリ、函使ハ、西ノ奉ノ京師
 二詣ラシムルナリ〔高歡〕初ノ歡ノ祖
 二法ニ坐シ、懷朔鎮ニ徒ル、世々北
 鎮ニ居ル、歡、妻氏ヲ娶ル、馬アリ、洛陽ニ
 至ル、張彞ノ死スルヲ見テ、家ニ還リ
 賞ヲ傾テ、以テ客ヲ結フ、或人其故ヲ
 問フ、歡カ曰ク、宿衛相率テ、大臣ノ第
 ヲ焚ク、朝廷懼テ問ハス、政ヲ為ス、此
 ノ如シ、事知ル可シ、財物ハ豈ニ常ニ

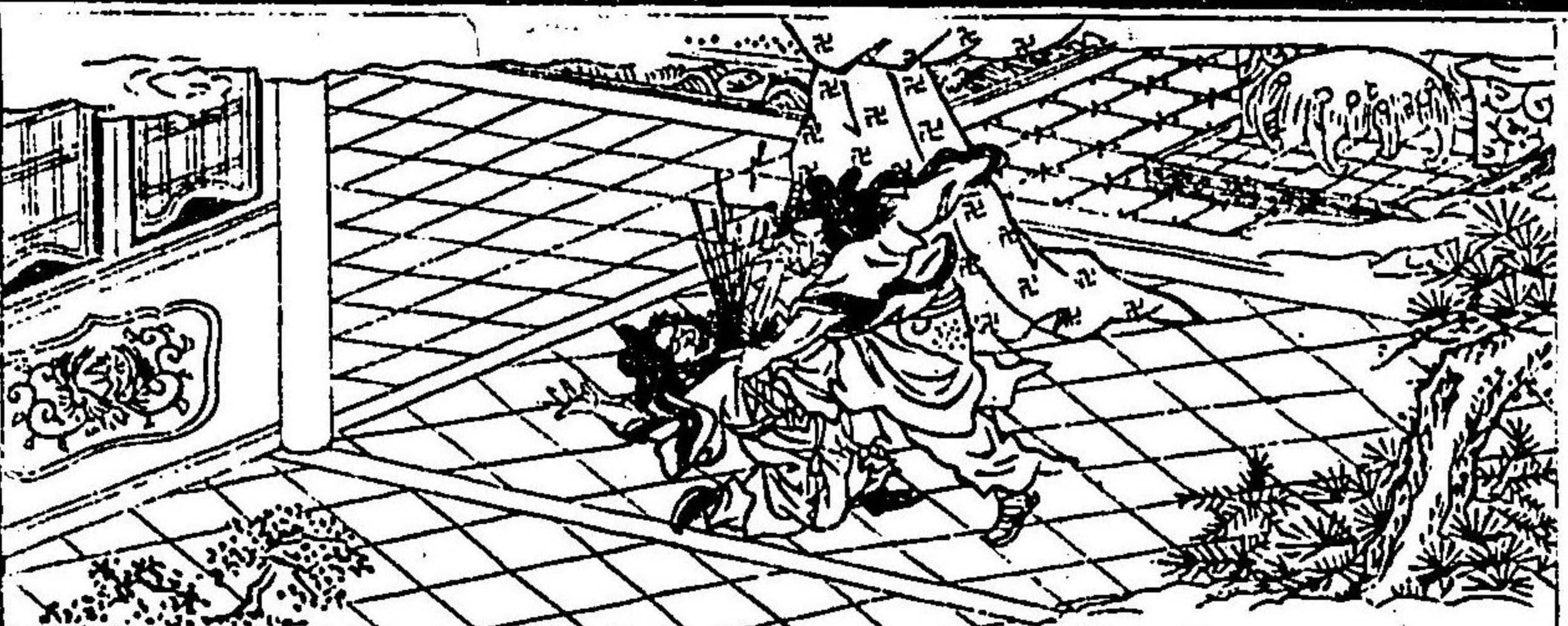
〔壅蔽〕凡ソ親主
 ノ愛信スル所
 ノ者、太后之
 事ヲ以テ之ヲ
 去ラシメ、務テ
 壅蔽ヲ為シ、外
 事ヲ知ラシメ、

守ル可ケンヤト、歡ハ、先世ヨリ法ニ
 坐セラレテ、北邊ニ徙ル、遂ニ鮮卑ノ
 俗ニ習ス、沉深ニシテ、大志アリ、侯景等
 ト相友トシ、善シ、任俠ヲ以テ郷里ニ
 雄タリ。○魏ノ胡太后、朝ニ臨テヨリ
 以來、嬖倖事ヲ用テ、政事、縱弛ス、盜賊
 蠭起シ、封疆、日ニ蹙マル、魏主詡、寢ク
 長ス、太后自ら為ス所ノ不謹ナルヲ
 知ル、務テ壅蔽ヲ為ス、母子嫌隙日ニ
 深シ、時ニ六州ノ大都督秀容ノ酋長
 朱榮〔朱榮〕ハ、姓〔榮〕ハ、名、時ニ共、肆、益、
 廣恒、雲ノ六州ヲ都督ノ共ニ

〔手ツカラ刺ス〕
魏帝、手ツカラ
刺シ殺ス

秀容部落、長ト為ル兵強シ、高歡、榮ヲ
見テ、即チ勸テ兵ヲ舉ケ、帝ノ側ヲ清
ノシム、魏主ノ殂スルニ會フ、胡太后、
之ヲ鳩スルナリ、後ニ謚ノ孝明皇帝
ト曰フ、尔朱榮、兵ヲ舉テ孝文ノ姪、長
樂王子攸ヲ立ツ〔子攸〕彭城明后ヲ河
ニ沉ム、榮ヲ太原王ニ封ス、晋陽ニ還
ル、北海王顥、魏ノ子梁ニ奔ル、梁ヲ立
ツ、將ヲ送テ洛陽ニ入ラシム、梁主
以テ、魏王ト為シ、陳慶之ヲ遣シ、之ヲ
送テ、北ニ還ラシム、顥、遂ニ慶之ト
睚、陽城ノ南ニ即ク、帝位ニ攸出奔ス、
尔

親主手ツカラ朱榮ヲ
刺ス

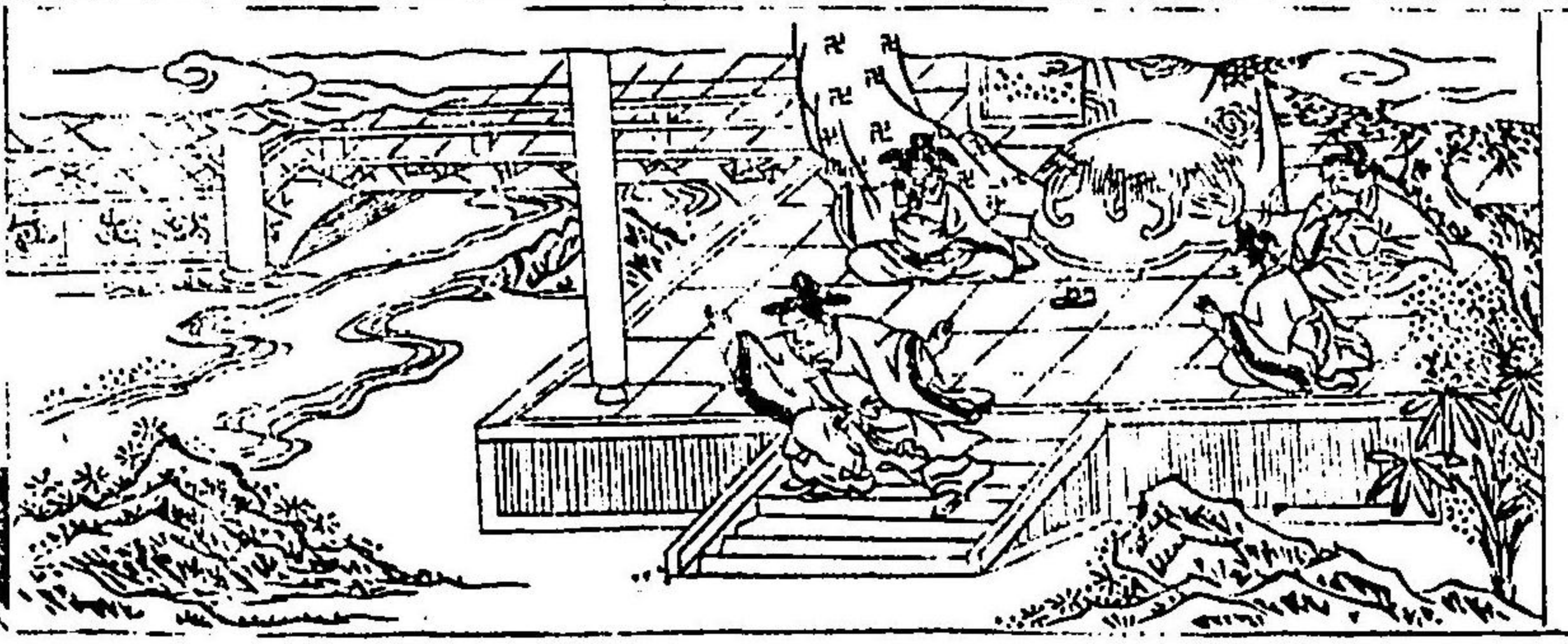


朱榮、河ヲ渡テ来リ救フ、顥、走死ス、子
攸、歸ル、榮ニ天柱大將軍ヲ加フ〔天柱〕
ニ柱ハ、三公ノ位、一ニ曰ク、榮、不臣ノ
天ノ三台ノ六星ナリト、榮ヲ誅セント謀
志ヲ蓄フ、魏主、陰ニ榮ヲ誅セント謀
ル、榮入ル、手ツカラ之ヲ刺ス、尔朱世
隆、尔朱兆ト、宗室ノ長、廣王曄ヲ立ツ
〔尔朱兆〕榮カ弟洛陽ニ入ル、子攸、弒ニ
遇フ、後、謚ノ孝莊皇帝ト曰フ、世隆又
曄カ疎遠ナルヲ以テ、之ヲ廢ス、孝文
ノ姪、廣陵王恭ヲ立ツ〔恭〕廣陵王高歡、
兵ヲ起シ、尔朱氏ヲ誅ス、洛陽ニ入リ、

長安ニ奔ル世
西魏ト号スル
此ニ始マル世
ニ号スル世東魏
ト号スル世
始マル

恭ヲ奏ノ、孝文ノ孫、平陽王脩ヲ立ツ
〔脩〕廣平王脩、恭ヲ弑ス、後謚ノ節閔皇
 帝ト曰フ、高歡、大丞相ト為ル、府ヲ晉
 陽ニ建テ、之ニ居ル、魏主、歡ヲ畏ル、晉
 陽ヲ伐ヲ謀ル、歡、兵ヲ擁ノ来ル、魏主、
 長安ニ奔ル、関西ノ大都督宇文泰ニ
 依ル、泰ヲ以テ大丞相ト為ス、歡、魏主
 ヲ追フ、及ハス、遂ニ清河王ノ世子善
 見ヲ洛陽ニ立ツ〔清河王〕孝
 魏、道武ヨリ是ニ至ル、十二世、一百四
 十九年ニシテ東魏、西魏ト為ル○

梁主暄ニノ殿ヲ下
ル圖



是ヨリ先キ、熒惑、南斗ニ入レハ、天子殿ヲ下
 日ク、熒惑、南斗ニ入レハ、天子殿ヲ下
 テ走ルト、乃チ暄ニノ殿ヲ下テ、之ヲ
 襪ト、脩カ出奔スルヲ聞ニ及テ、慙テ
 日ク、虜モ亦天象ニ應スルヤト、脩、長
 安ニ至ル、半年ヲ踰テ、又泰ト隙アリ、
 泰、之ヲ鳩ス、後謚ノ孝武皇帝ト曰フ、
 孝武、既ニ弑ニ遇フ、泰、南陽王宝炬ヲ
 立ツ〔宝炬〕孝文帝ノ孫、京
 相ヒ攻戦ス、互ニ勝負アリ、歡、卒ス、遺
 言ノ其子澄ニ囑メ、曰ク、侯景ハ飛揚

龍頭
十八史略釋卷六
南北朝梁

〔圖〕按ノ小ナル者ヲ、甌ト曰フ

跋扈ノ志アリ、汝力能ク御スル所ニ非ス、景ニ敵スルニ堪タル者ハ、惟慕容紹宗ナリト、景、果ソ叛キ、河南ヲ以テ西魏ニ降ス、未タ幾クナラス、復梁ニ附ク、梁、景ヲ封シ、河南王ト為ス、景カ使、梁ニ至ル、梁ノ群臣皆ナ納ルヲ欲セス、梁主モ亦自ラ謂フ、我カ國金甌ノ如シ、一モ傷缺スルナシ、恐クハ景ヲ納ルレハ、目テ以テ事ヲ生セント、惟慕容紹宗ノミガメ勸テ、之ヲ納ル、東魏、慕容紹宗ヲソ景ヲ撃タシム、景敗

〔身〕佛寺ニ捨ツ、優ク、同泰寺ニ幸シ、僧衣ヲ被ニキ、僧衣ヲ被ル〔臺城〕晋、宋ノ間、朝廷禁内ヲ謂テ、臺ト為ス、故ニ臺ヲ稱ス、臺城ト為ス

テ、南ニ走ル、梁ノ壽春ヲ襲テ之ニ據テ、命ヲ請フ、梁、就テ以テ南豫州ノ牧ト為ス〔南豫州〕時ニ壽春ヲ既ニノ東魏、成キテ梁ニ求ム、意、景ヲ得ント欲ス、景、梁ノ東魏ニ通スルヲ恨ム、遂ニ壽陽ニ反ス、兵ヲ引テ南ニ渡ル、建康ヲ圍ム、梁主、位ニ即イテヨリ以來、江左久ク無事ナリ、惟佛法ヲ崇テ、優身ヲ佛寺ニ捨ツ、上下之ニ化ス、景カ臺城ニ逼ルニ及テ、援兵ノ至ル者、景カ為ノニ敗ラル、梁主、人ヲ遣ソ景ト盟

龍頭

十八史畧譯解卷六

南北朝 梁

五

侯景梁主ニ見ユル圖



フ、以テ大丞相ト為ス、臺城圍ヲ受ル、
 五月ニソ陥ル、景、入テ見ユ、引テ三公
 ノ位ニ就ク、梁主神色変セス、景ニ謂
 テ曰ク、卿、軍中ニ在ル久シ、乃チ勞ヲ
 為ナシヤト、景敢テ仰視ス、汗ヲ流メ、
 對ル能ハス、景退テ人ニ謂テ曰ク、吾
 レ常ネニ鞭ニ跨リテ、陣ニ對シ、矢石
 交下ルル、了ニ怖ル、心ナシ、今ヤ蕭
 公ヲ見ル、人ヲノ自ラ懼シム、豈ニ天
 威犯シ難キニ非ヤ、吾復此レヲ見
 ル可ラスト、梁主、景ノ為メニ制セラ

〔荷々〕猶ヲ呵々
 ト云フカコト
 シ、責怒ノ色申
 大通〕三字ノ年
 号、中大同、亦同
 シ
 〔別子〕庶子ナリ、
 別ハ庶子ノ正
 嫡ニ別ナルヲ
 謂フナリ

レ、飲膳モ亦裁損セラレ、憂憤ノ疾ヲ
 成ス、口苦クソ蜜ヲ索レ、得ス、再ヒ
 荷々ト曰テ、遂ニ殂ス、在位四十八年、
 改元スル者、七ツ、曰ク、天監、普通、大通、
 中大通、大同、中大同、太清、壽八十六、是
 ヨリ先キ、太子統、仁明孝儉ニシテ、學ヲ
 好ミ、文アリ、東宮ニ在ル三十年ニソ
 終フ、梁主、嫡孫ヲ捨テ、別子ヲ立ツ、是
 ニ至テ、位ニ即ク、是ヲ太宗簡文皇帝
 ト為ス

簡文皇帝一名ハ綱、武帝ノ第三子ナリ、東

晉古ノ察ノ宇

宮ニ在ル、十八年ニメ而ノ後侯景ノ
 乱ニ遇フ、既ニ立ツ、制ヲ景ニ受ルノ
 湘東王繹、江陵ニ鎮ス、自ラ假黃鉞
 大都督、承制中外諸軍ト称ス、岳陽王
 登、昭明太子統ノ第三子ナリ、武帝
太子 謚曰フ昭明、襄陽ヲ鎮ス、繹ト相改ム、
 使ヲ遣フ、西魏ニ降リ、以テ援ヲ求ム
 ○東魏ノ大將軍、渤海王澄、是ヨリ先
 キ、其下ノ為メニ殺サル、登高勸ノ子
 清三年、膳奴、蘭京カ弟、洋丞相ト為ル、
 為ノニ弒セララル、東魏ノ主ニ逼リ、位
 齊王ニ封セララル、

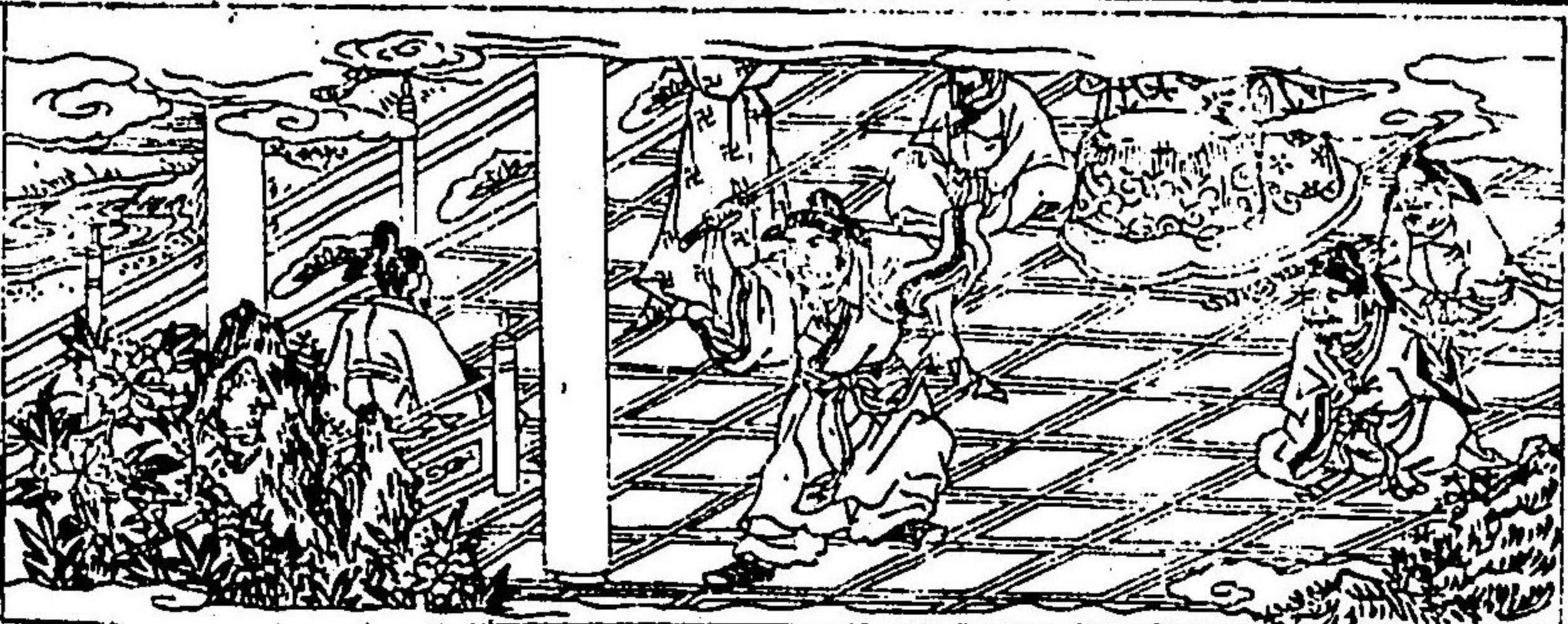
位ヲ禪ラシム、尋テ之ヲ弒ス、謚ノ孝靜
 世、此ハ、祭祀ノ
 位、尸ノ如シ、謂ハ、
 尸ノ如シ、謂ハ、
 梁帝其位ニ居
 ノ、而ノ其事ヲ
 為サス、猶ヲ
 主ノコトキナ

フ禪ラシム、尋テ之ヲ弒ス、謚ノ孝靜
 皇帝ト曰フ、東魏、國ヲ建テ、一十七年
 ニメ亡フ、○西魏、梁ノ蕭詧ヲ立テ、梁
 王ト為ス、○西魏ノ主、宝炬殂ス、謚ノ
 文皇帝ト曰フ、太子欽立ツ、○侯景、自
 立メ、漢王ト為ル、梁主ヲ廢メ、之ヲ弒
 ス、尸位三年ニ及ハス、改元スル者一
 ツ、曰ク、大宝、景、豫章王棟ヲ立ツ、明
 子ノ巴テニメ、位ヲ篡ス、是ヨリ先キ、
 長孫ノ太守、陳霸先始興郡、廣東ニ屬
 始興ノ太守、陳霸先始興郡、廣東ニ屬
 兵ヲ起メ、景ヲ討ス、湘東王、王僧弁ヲ

目眇說文ニ云、一
目小ナリ

ノ景ヲ討セシム景、篡テ数月ニノ僧
 弁、霸先カ為ノニ敗ラル、亡テ兵ニ走
 ル、海ニ入ラント欲ス、其下ノ為ノニ
 斬ラル、アヲ建康ニ送り、首ヲ江陵ニ
 傳フ此時ニ湘東王其ノ手足ヲ截テ、北
 齊ニ送ル齊、東魏ノ東魏ニ叛ク而シテ北
 ナ湘東王立ツ、是ヲ元皇帝ト為ス
 元皇帝名ハ繹、武帝ノ第七子ナリ、一目
眇ニシテ、殘忍ナリ、江陵ニ即位ス、侯
 景ノ乱ヨリ、州郡、大半、西魏ニ入ル、蜀
 モ亦魏ノ為ノニ有セラル、梁ハ、巴陵

梁主宝劔ヲ以テ柱ヲ撃ツ圖



ヨリ以下巴陵郡、湖廣ニ属建康ニ至
 ルマテ、長江ヲ以テ限ト為ス○突厥
 古ノ匈奴柔然ヲ攻ム、北齊、突厥ヲ撃テ、
 柔然ヲ迂ス、是ノ時、柔然衰フ、突厥、始
 テナリ○西魏ノ宇文泰、其主欽ヲ廢
 ヲ、其弟廓ヲ立ツ廓文帝ノ欽、弒ニ遇
 フ○西魏、柱國于謹ヲ遣シ、梁ヲ伐テ
 江陵ニ入ル柱國官ノ名、輔弼ノ臣、國
 梁主、古今ノ圖書十四万卷ヲ焚キ、宝
 劔ヲ以テ、柱ヲ撃テ、之ヲ折リ、歎ソ曰
 ク、文武ノ道、今夜盡ヌト、乃チ出テ、

覺、周天王ト称ス、性剛果ニシテ、護ノ專
 ナルヲ惡ム、護之ヲ弒ス、後謚ノ孝閔
 皇帝ト曰フ、秦ノ長子毓ヲ立ツ。○梁
 ノ丞相陳霸先、相國ト為ル、陳公ニ封
 セラル、九錫ヲ加フ、尋テ爵ヲ進テ、王
 ト為ル、梁主、改元スル者ニシテ、曰ク、紹
 泰、曰ク、太平、尸位未タ三年ナラスノ、
 陳ニ禪ル、尋テ弒ニ遇フ、梁、高祖武帝
 ヨリ、是ニ至テ、四世、凡ソ五十六年ニ
 メセフ
 ○陳 陳霸先、姓、陳ヨリ出ルヲ以テ、曰
 テ陳王ニ封セラレ、禪ヲ受ルニ

○武帝紀ニ、陳
 主、我ニ臨ミ、勝
 ヲ制ス、英謀獨
 リ運ス、而メ政
 ヲ為ス、務テ寬
 簡ヲ崇フ、軍旅
 ノ急務ニ非レ
 ハ、輕ク調發セ
 ス、性儉素ナリ
 後宮、金翠ノ飾
 ナシ

及テ、遂ニ國号ヲ建テ、
 陳ト曰フ、建康ニ都ス、
 高祖武帝「姓ハ陳、名ハ霸先、漢ノ陳寔
 ノ後、兵興ノ人ナリ、吳興」郡、江浙ニ屬
 梁ノ武帝ノ大同中ニ、廣州ノ參軍ト
 為ル、廣ニ乱アリ、討メ之ヲ平ク、功ヲ
 以テ將軍ト為ル、尋テ交州ノ司馬、西
 江ノ都護、高要ノ太守ト為テ、七郡ノ
 諸軍ヲ督ス、〔高要〕郡、廣東ニ屬ス、今ノ肇慶府〔七郡〕名目未タ詳
 ナラ、屢寇乱ヲ平ク、侯景、臺城ヲ陷ル、
 霸先、時ニ始興ニ守タリ、郡中ノ豪傑
 ヲ結テ、兵ヲ起シ、景ヲ討メ、先ツ江州

龍頭

十八史略釋卷六

南北朝陳

盜

〔没〕蕃没

ヲ取テ、州ノ刺史ト為ル、兵ヲ引テ、諸
 軍ヲ會メ、卒ニ以テ景ヲ平ク、遂ニ梁
 ニ將相タリ、以テ禪ヲ受ルニ至ル、位
 ニ即テ、三年ニノ殂ス、改元スル者、一
 ツ、曰ク、永定、子二人、昌、頊、皆江陵陷ル
 時ヲ以テ、長安ニ没入ス、〔長安〕西魏ノ
 為ル都ト臨川王立ツ、是ヲ世祖文皇帝
 ト為ス

〔文皇帝〕名ハ鬱武帝ノ兄ノ子ナリ〔兄〕昭
 武帝、梁ノ乱ヲ平クル時ニ在テ、已テ
 ニ功アリ、是ニ至テ即位ス、○周主毓

帝ト稱ス、○北齊ノ主洋、盡ク元氏ノ
 族ヲ滅ス〔元〕魏ノ姓ナリ、洋殂ス、謚ノ文宣皇
 帝ト曰フ北齊主祖シテ、○周宇文護
 周帝ノ明敏ニノ識量アルヲ憚ル、毒
 ヲ進テ之ヲ弑ス、謚ノ明皇帝ト曰フ
 毓カ弟邕立ツ、○北齊ノ文宣帝ノ母
 弟、常山王演、其主殷ヲ廢メ、自立ス、尋
 テ殷ヲ弑ス、演立テ一年ニノ殂ス、謚
 ノ孝昭皇帝ト曰フ、母弟長廣王湛、又
 演カ子百年ヲ廢メ、自立ス〔百年〕後百
 年ヲ殺ス、○後梁主譽殂ス、太子歸立

〔天嘉〕即位ノニ
年ニ改元

〔臨海王〕項帝ト
廢ノ臨海王ト
為マ〔光大〕即位
ノ二年ニ改元
〔亮〕古ノ光ノ字

立ツ○北齊ノ主湛、位ヲ太子緯ニ傳
フ、自ラ太上皇帝ト稱ス○陳主、艱難
ヨリ起テ、民ノ疾苦ヲ知ル性明察ニ
ノ儉勤ナリ、在位八年ニノ殂ス、改元
スル者ニツ、曰久天嘉、曰久天康、太子
立ツ、是ヲ廢帝臨海王ト為ス〔臨海〕郡
屬ス、今ノ
台州府
廢帝臨海王名ハ伯宗、在位三年、改元ス
ル者一ツ、曰久光大、安成王項カ為ニ
廢セラレ〔項〕武帝ノ兄、昭烈王ノ○北
齊ノ上皇湛殂ス、謚ノ武成皇帝ト曰

〔周〕主邕、宇文護
ヲ誅ノ始テ政
ヲ親ラシ通軍
ニ、左右十二
相府ニ摠屬ノ
皆晋公護ノ處
介ヲ受ク凡ソ
徵祭スル護カ
書ニ非レハ行
ハス、又云、周
深ク自ラ晦匿
シ、開預スル
ナシ、人其淺深
ヲ測ラズ、又云
帝毎ニ禁中ニ
於テ護ヲ見ル
常ニ家人ノ礼
ヲ行フ、太后護
ニ坐ヲ賜ス、帝
旁ニ立侍ス、丙
辰、護、同州ヨリ
長安ニ還ル、帝

フ○陳ノ安成王自立ス、是ヲ高宗宣
皇帝ト為ス
宣皇帝名ハ瑒、初ノ長安ニ陷入ス、文帝
ノ時、周人、瑒ヲ送テ陳ニ還ル、是ニ至
テ位ニ即ク○周主邕、宇文護ヲ誅ノ、
始テ政ヲ親ラス○北齊ノ後主緯、嬖
寵多シ、政乱ル、周、齊ヲ伐テ、鄴ニ入ル、
緯ヲ執ヘテ、歸テ之ヲ殺ス、其族ヲ夷
ク、北齊、國ヲ建ル六世、二十八年ニノ
亡ス、〔六世〕文宣帝洋、廢帝殷、孝昭帝○
周主邕、深沉ニノ遠識アリ、政事嚴明

南北朝 陳 卷六

文安殿ニ御シ
之ヲ見ル、曰テ
護ヲ引テ、舍仁
殿ニ入リ、太后
ニ謁ス、且ツ之
ニ詔メ、曰ク、太
后春秋高シ、酒
ヲ飲ラフ好ム、屢
諫ムト雖モ未
タ垂納ラズ、蒙ラ
ス、兄今朝ニ入
ル、更ニ請ヘ、入
目テ懷中ノ酒
誥ヲ出シ、之ニ
授テ曰ク、此ヲ
以テ太后ヲ諫
メヨト、護既ニ
入ル、帝ノ戒ム
所ノ如ク酒誥
ヲ讀ム、未ク畢
ラテ、帝、玉珽
以テ後ヨリ之

ナリ、稱ノ賢主ト為ス、齊ヲ滅シ、一年
ニシテ、太子贊立ツ、皇后楊氏ヲ立ツ、后ノ
父隋公揚堅、事ヲ用ユ、上柱國大司馬
ト為ス、贊、太子タリシ時ヨリ、好テ小
人ヲ昵近ス、立テ未タ一年ナラサル
ニ、位ヲ子闡ニ傳フ、自ラ天元皇帝ト
稱ス、驕侈彌甚シ、未タ一年ナラスノ
殂ス、謚ノ宣皇帝ト曰フ、揚堅、自ラ大
丞相ト為リ、相國隋王ニ進ム、九錫ヲ
加フ、未タ幾ハクナラス、周主闡、位

ヲ擊ツ、護、地ニ
踏ス、帝、宦者何
泉ヲシテ、御刀
ヲ以テ、之ヲ斫
ラシム、泉、惶懼
斫ルニ傷ツク、真
能ハス、衛公直
戸内ニ匿ル、躍
リ出テ、之ヲ

ヲ隋ニ禪ル、尋テ弒セララル、隋主、盡ク
宇文氏ノ族ヲ滅ス、周、帝ト稱シテヨ
リ、是ニ至テ、五世、二十五年ニシテ、
○陳主、在位十四年、改元スル者一ツ、
曰ク、大建、殂ス、太子立ツ、是ヲ後主長
場公ト為ス

〔後主長城場公〕名ハ煬、太子タリシヨ
リ、詹事江總ト長夜ノ飲ヲ為ス〔詹事
官ニ肅事ル位ニ即テ、未タ幾ナラス
ノ、臨春、結綺、望仙閣ヲ起ツ、各高サ數
十丈、連延數十間、皆ナ沉檀ヲ以テ之

〔沉檀〕沉香、檀香

教範 頭

十八史略釋卷六

南北朝陳

〔瑰〕美ナリ、
〔卉〕草ノ惣名

〔曲〕皆諸ノ妃嬪
ノ容色ヲ美ム
ル者
〔縱橫〕放縱ニ
恣横ナリ

ヲ為クル金玉、珠翠、之レカ飾ト為ス、
珠簾宝帳、服玩瑰麗、近古未ダ有ラズ、
其下ニ石ヲ積テ、山ト為シ、水ヲ引テ、
池ト為シ、花卉ヲ雜ヘ植エ、陳主、臨春
閣ニ居ル、貴妃張麗華、結綺ニ居ル、龔
孔ノニ貴嬪ハ望仙閣ニ居ル〔實〕妃貴
官ノ護道ヨリ往来ス、江總、宰輔ト為
ル、政ヲ親ラセス、日ニ孔範等ノ文士
ト後庭ニ待宴ス、之ヲ御客ト謂フ、諸
ノ貴嬪ヲノ客ト唱和セシム、其曲玉
樹、後庭花等アリ、君臣酣歌シ、歎ヨリ

〔解〕解〔乖〕離ヲ言
フナリ

〔帝〕江陵ニ稱
ス凡テニ世

皇ト達ス、宦官近習、内外連結シ、宗族
縱横シ、貨賂公行ス、孔範、貴嬪ト結テ
兄弟ト為ル、範、自ラ謂フ、文武ノ才能
舉朝及フナシト、將帥微ク過失アレ
ハ、即チ兵權ヲ奪フ是ニ由テ、文武解
解シ、覆滅スルニ至ル○後深主熾殂
ス、太子琮立ツ、隋主、廢メ之ヲ滅ス、晉
帝ヲ江陵ニ稱メヨリ、西魏周隋ニ臣
タリ、統ル所ハ數郡ノミ、凡テ三十三
年ニシテ○隋、晉王廣ヲ以テ元帥
ト為ス〔廣〕隋ノ文、帝師ヲ帥テ陳ヲ伐

〔武毅〕晉ノ元帝、南渡ノ即位ニ建康ニ即ク、歲丁丑ニアリ、是ノ歲、戊申ニ在リ、凡テ二百七十二年〔故〕女樂ナリ〔臣〕毎ニ官ノ卑キヲ患フ云々、孔範、自謂ラク、文武兼資スト、故ニ大言メ自ラ功ヲ立ント詭ル、晉宋ヨリ以テ來三公ヲ謂テ、大尉公ト爲ス、空公ト爲ス

シム、揚素、韓擒虎、賀若弼、道ヲ分テ出ツ〔賀〕若高顔、元帥ノ長史ト爲ル、薛道衡、問フ、江東、克ツ可キカト、對テ曰ク、之ニ克タン、郭璞カ言ニ〔郭〕璞、晉ノ人、士ナ、江東今レテ、王タル三百年ニノ復、中國ト合セント云、此、數、將サニ周カラントスト、陳主、隋ノ兵アルヲ聞テ、近臣ニ謂テ曰ク、王氣此ニアリ、彼何為ノ者ソト、孔範カ曰ク、長江ハ天塹ナリ、豈ニ能ク飛渡センヤ、臣毎ニ官ノ卑ヲ患フ、虜若シ江ヲ渡ラハ、定

俘軍ニ獲ルヲ、俘ト曰フ

テ大尉公ト作ラント、陳主以テ爲ラク然リト、妓ヲ奏シ、酒ヲ縱ニシ、詩ヲ賦スルヲ輟マス、賀若弼、廣陵ヨリ江ヲ濟ル、韓擒虎、橫江ヨリノ甯、采石ヲ濟ル〔橫〕江、采石、對岸、采石守者皆醉ス、擒虎、遂ニ新林ヨリ進テ、直ニ朱雀門ニ入ル〔新〕林、浦、建康主、自ラ影陽ノ井中ニ投ス、軍人井ヲ伺ヒ、將サニ石ヲ下サントス、乃チ叫ブ、繩ヲ以テ之ヲ引ク、張勳、華、孔貴、墳ト同ク、棄テ上ク、俘ヘ以テ帰ル、後主、在位七年、改元スル者

龍頭

十八史畧釋卷六

南北朝陳

卷

ニツ、曰ク、至^レ徳、曰ク、復^レ明、陳、高祖武帝
ヨリ、是ニ至テ、五世、凡テ二十三年ニ
ノセフ

以上、宋、齊、梁、陳、是^レ南朝ト為ス、前
ノ孫、吳、東、晉、ヲ并セテ、皆都^レ金陵
ニ建^レツ、是^レ江左
ノ六朝ト為ス

沖冠嶺著十八史略譯解卷之六終

